

TOTO

施工説明書

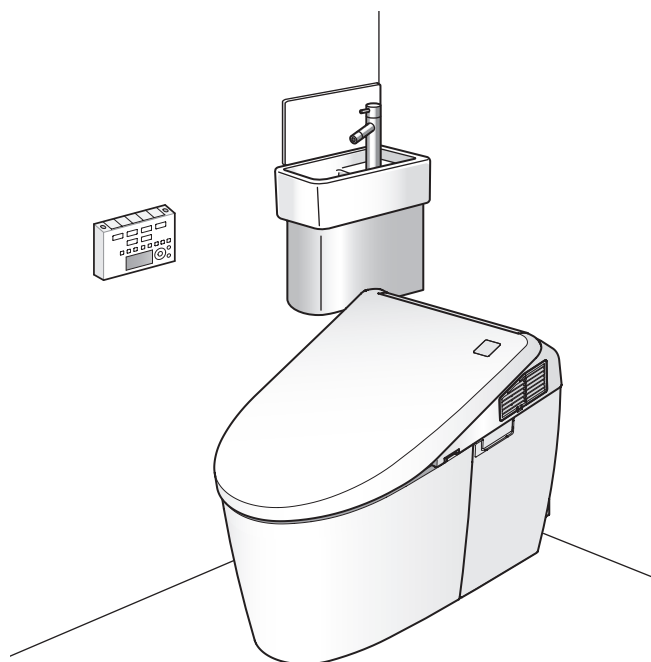
ウォシュレット® ネオレストハイブリッドシリーズ手洗器付（ワンデーリモデル）

壁排水（後ろ抜き／後ろ抜きリモデル／左右抜きリモデル）
コーナータイプ手洗器付
UWA 型

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

製品の機能が十分発揮できるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
本書は手洗器が左勝手を基準に説明しております。本書に記載の寸法の単位はmmです。

下記商品の取り付けは、各商品に同梱の施工説明書を参照してください。
〈ウォシュレット・タオル掛け（壁付タイプ）・手すり・化粧鏡〉



情報編

3

- | | |
|--------------|----|
| 1. 安全上のご注意 | 4 |
| 2. 取り付け前のご注意 | 6 |
| 3. 部品の確認 | 11 |

手順編

15

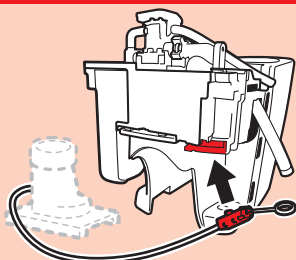
**必ず
実施**

工事店様へ

従来にはない施工が必要です。排水ソケットに付いている手動レバーを必ず便器に取り付けてください。▶P.37

従来製品からの主な注意点

① 便器取り付け前に手動レバーを取り付ける



正しく取り付けられていないと、ブザー音が鳴り、ランプがすべて点滅します。

▶P.37

② 停電時に使用するため電池ボックスは取り外さない



※袋のヒモが切れてしまった場合は、もう一方の穴に通して取り付けてください。

- 取扱説明書の最終ページの保証書に、必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡ししてください。お渡しできない場合は、目立つ場所に置いてください。
- 取り付け後、ウォシュレットの機能、使いかたなどについてお客様にご説明をお願いいたします。
- 新築などでお客様に引渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。

情報編

1. 安全上のご注意 ▶ 4

2. 取り付け前のご注意 ▶ 6

1	電気配線	6
2	補強	7
3	給排水位置	7
4	窓枠	10
5	必要工具	10

3. 部品の確認 ▶ 11

1.安全上のご注意

安全のために必ずお守りください。

お取り付け前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容となりますので、必ずお守りください。

●表示と意味はつぎのようになっています。 ●お守りいただく内容を絵表示で区分し、説明しています。



警告

誤った取り扱いをすると、「死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容です。



してはいけない「禁止」の内容です。



注意

誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性および物的損害※の発生が想定される」内容です。



必ず実行していただく「強制」の内容です。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

 分解禁止	修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わない 火災や感電の原因となります。	 ぬれた手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となります。
	 アース接地		アース(D種接地)工事がされていることを確認する アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電の原因となります。 アース工事は、お近くの工事店に依頼してください。
 警告	 禁止	水道水および飲用可能な井戸水・地下水以外は使用しない 皮膚の炎症などを起こす原因となります。	電源プラグやコードが傷んだりコンセントの差し込みがゆるいままで使用しない 火災や感電の原因となります。
		指定する電源(交流100V)以外では使用しない 火災の原因となります。	ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因となります。
		電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。	給水および排水管の真下部にコンセントを設置しない 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。
		屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所に取り付けない 取り付けが不安定になり、倒れたり落下してけがやときに死亡の原因となります。	器具取付用のねじ固定部の壁裏には、配管・配線を通さない 火災や感電の原因となります。 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
		雷が発生しているときは、電源プラグに触れない 感電の原因となります。	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
		ウォシュレットの給水ホースをコンセントに接触させない 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。	
		電源プラグは根元まで確実に差し込む 火災や感電の原因となります。	壁固定ねじ取付位置には、必ず壁裏を補強する 商品の転倒、落下によりけがやときに死亡の原因となります。
 必ず守る	コンセント位置・電源コードの取り回しは、本説明書に記載された位置・方法・注意事項を厳守する 結露水などにより、コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。	電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因となります。	
取り付け面がタイル・コンクリート壁の場合は、コンクリート用プラグ(現場手配)を使用する 取り付けが不安定になり、落下によりけがやときに死亡の原因となります。	工事完了後、商品の傾きやがたつきがないか確認する 商品が落下したり、外れたりしてけがやときに死亡の原因となります。		



必ず守る

商品を取り付ける柱・間柱は、腐食などで強度不足でないことを確認する
 取付物の転倒・落下によりけがやときに死亡の原因となります。

コンセントは水や小水がかからない位置に設置する
 コンセントに水がかかり、感電・発火の原因となります。

石こうボードの場合は指定のボードアンカーを使用する
 取り付けが不安定になり、落下によりけがやときに死亡の原因となります。

機器の設置は専門業者が行う
 また、電気工事は関連する法令・法規に従って有資格者(電気工事士)が行う
 火災や感電の原因となります。水漏れして、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
 商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。



禁止

止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない
 水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

商品に強い力や衝撃を与えない
 商品の破損や落下によりけがをするおそれがあります。水漏れして、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

給水ホースが破損するようなことをしない
 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしない
 給水ホースが破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生の原因となります。



注意



必ず守る

給水フィルター・給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは接続部やフィルターふたを確実に締める
 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。

設置工事に使用する部材は必ず付属部品および指定部品を使用する
 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

工事完了後、給排水管から水漏れがないか確認する
 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

給水・排水接続に関する作業は、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する
 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

カットした面は滑らかに仕上げる
 滑らかに仕上げないとお客様の手が触れ、けがをする原因となります。

ボードアンカーへのねじの固定は電動ドライバーを使用しない(手締めする)
 ボードアンカーの破損により、取付物が落下し、けがの原因となります。

商品の取り付け・加工は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する
 商品が破損・落下し、けがのおそれがあります。

給水ホースと分岐金具を正しく接続する
 水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

商品の壁への固定が完了するまで、もたれたりものを載せたりしないよう十分注意する
 商品が倒れたり落下してけがの原因となります。

ねじ部の固定については、本説明書に記載された方法・注意事項を遵守する
 商品が破損し、けがをする原因となります。

推奨位置以外に設置する場合は、安全性を十分に確認する
 取り付けが不安定になり、使用中に落下してけがの原因となります。

手洗器等、器具周囲のすきま処理は、本説明書に記載された方法・注意事項を厳守する
 水が浸入し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

凍結のおそれがある地域では、凍結防止工事を行う
 凍結すると器具の一部が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

給水ホースと分岐金具床継手は必ず指定のクイックファスナーで固定する
 ホースが外れて水が噴き出し、家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

2. 取り付け前のご注意

取り付け前の確認

左右抜きの場合、排水ジョイント(HP82S)を別途手配してください。

- ① 取り付けに必要なトイレスペースを確保する
※ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- ② 室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150mm以上の空間を確保する
※壁が変色する原因となります。
- ③ AHタイプの場合、窓枠・棚・収納キャビネットなどと便ふたの干渉に注意する
※便ふたが当たって開ききらないことがあります。
棚、収納キャビネットは下端FL+1400mm以上を目安としてください。
- ④ 商品への通電および漏水確認は本説明書に準じて行う
- ⑤ 給水ホースの先端接続部にキズを付けないようにする

- ⑥ 定格電源、定格消費電力は下表を参照
※AC100V 50/60Hz共通です。

定格消費電力	AH2W・RH2W	AH1・RH1・RH0	DH2・DH1
一般地(流動方式兼用)	1381W	1281W	1269W

- ⑦ 給水取出位置・排水管位置およびコンセント位置が所定の位置であることを確認する
※ウォシュレット用電源コードの長さは約1mです。
コンセントはこの長さに適した所定の位置に設置しているか確認してください。
- ⑧ 給水圧力
最低必要水圧：0.05MPa(流動10L/min)
最高水圧：0.75MPa(静止時)
この圧力範囲で使用してください。

1 電気配線

大便器

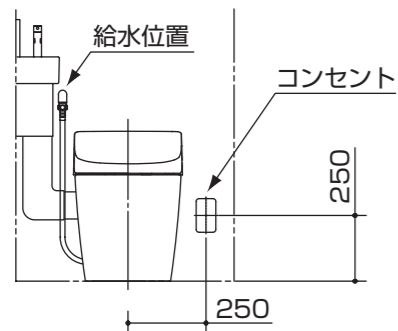


警告
電源コンセントは水や小水がかからない位置に設置する
電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因となります。

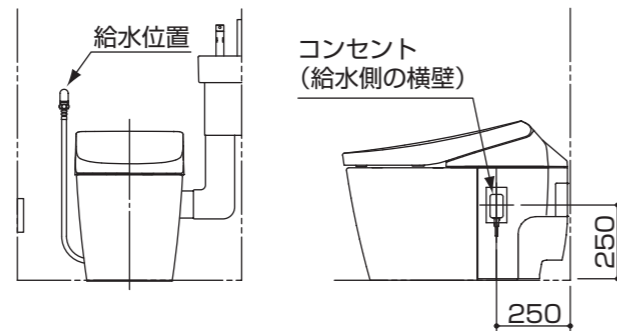
必ず守る
壁給水や露出された排水管の真下部に電源コンセントを設置したり、ウォシュレット用のホースと電源コンセントを接触させない
結露水などにより、電源コンセントに水がかかり感電・発火の危険性があります。

コンセント設置位置は、便器を挟んで給水位置と反対側、もしくは横壁に設置してください。ただし、給水位置と反対側に手洗器がある場合には、給水側の横壁に設置してください。下図に、推奨位置を示しますので、参照してください。
なお、コンセントは接地用端子の付いた接地極付の壁埋込式コンセントを取り付けておいてください。コンセントは付属品として同梱されておりませんので、現場にて手配してください。

推奨位置



給水位置と反対側に手洗器がある場合

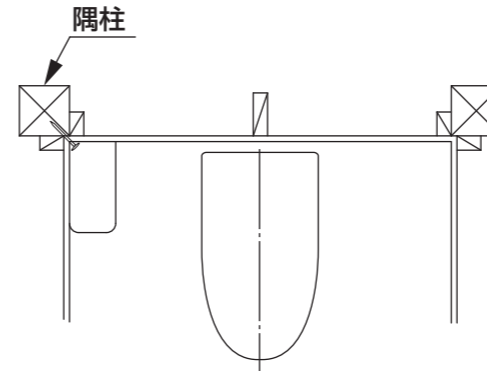


2 補強

ねじ位置については下記URL内の「ねじ位置情報」をご覧ください。
[URL]
<http://search.toto.jp/contents/navi/construction/wl/default.htm>

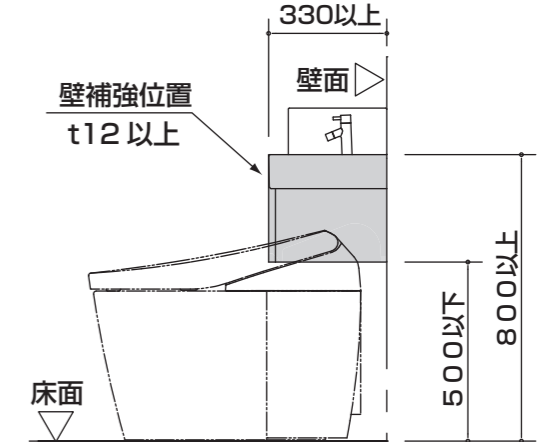
隅柱がある場合

補強材は必要ありません。
※隅柱に固定します。



隅柱がない場合

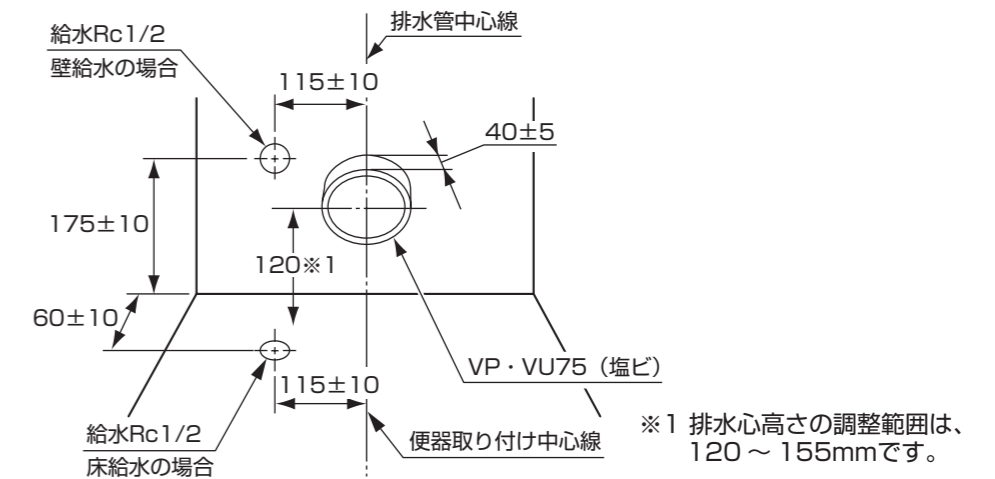
下図のように手洗器側の横壁の網掛け部範囲(壁裏)に必ず補強材(普通合板t12以上)を入れてください。JAS規格相当の合板を使用してください。合板は受木または間柱などに固定してください。



3 給排水位置

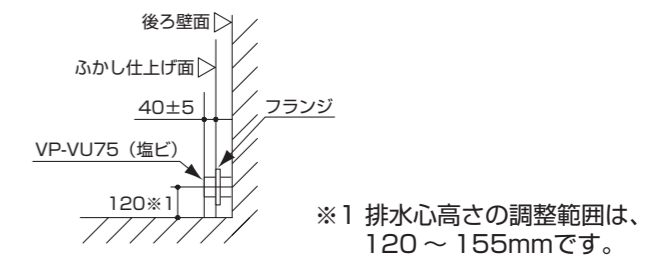
後ろ抜き(排水心高さ120mm)給水隠ぺいタイプ・便器品番：CS987BDP

- ・施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。
- ・排水勾配は必ず1/50以上確保してください。
- ・下図の位置に仕上げ面と同一面にRc1/2の給水管を取り出してください。



フランジ付配管の場合

- ・建築側での対応となります。トイレの後ろ壁を右図のようにふかして、フランジ前面と同一面となるように仕上げてください。また、給水位置や各器具の設置位置はふかした仕上げ面を基準に取り付けてください。



2 取り付け前のご注意

2 取り付け前のご注意

後ろ抜きリモデル (排水心高さ120~155mm) 給水露出タイプ・便器品番：CS987BDX

・施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。

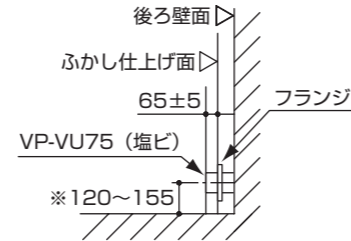
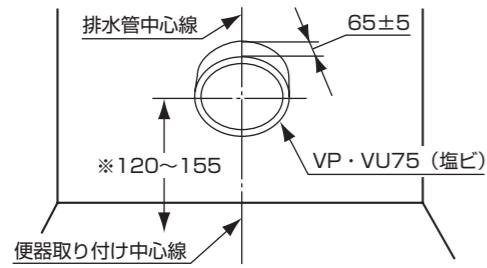
排水位置

・排水勾配は必ず1/50以上確保してください。

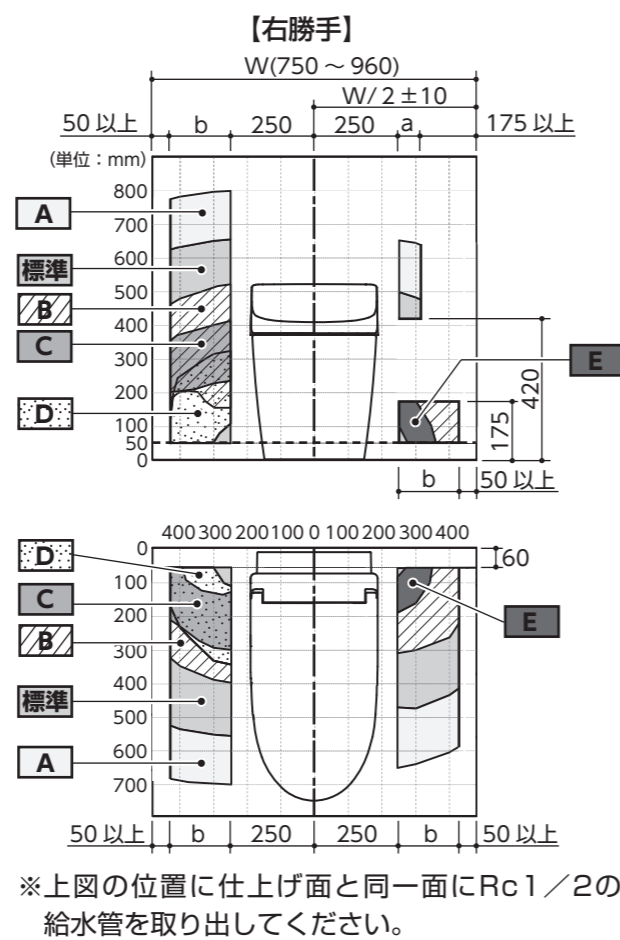
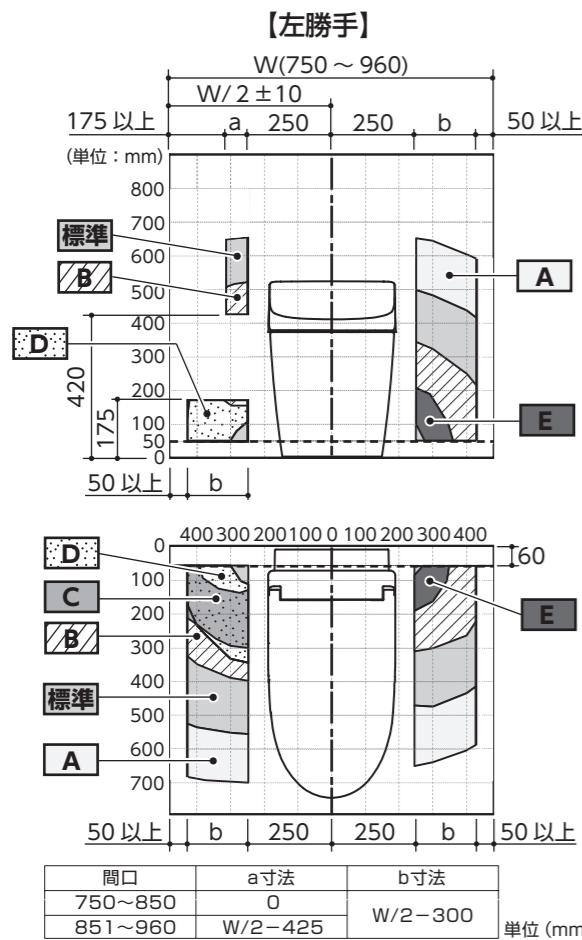
※100~119mmの場合は別売品のフランジユニット (HP406) および壁フランジ (HP551VP、HP551VU) が必要です。

【フランジ付配管の場合】

建築側での対応となります。トイレの後ろ壁を下図のようにふかして、フランジ前面と同一面となるように仕上げてください。また、給水位置や各器具の設置位置はふかした仕上げ面を基準に取り付けてください。



給水位置



標準	A	B	C	D	E
リモデル標準給水ホース 止水栓範囲(700mm)	860mm TN111L86 ¥11,000 (税抜)	550mm TN111L552 ¥12,800 (税抜)	450mm TN111L45 ¥10,500 (税抜)	400mm TN111L40* ¥13,000 (税抜)	370mm TN111L37*2 ¥12,000 (税抜)

*1 エルボが同梱されております。 *2 長さ調整用の継手が同梱されております。

左右抜きリモデル (排水心高さ100~155mm) 給水露出タイプ・便器品番：CS987BDX

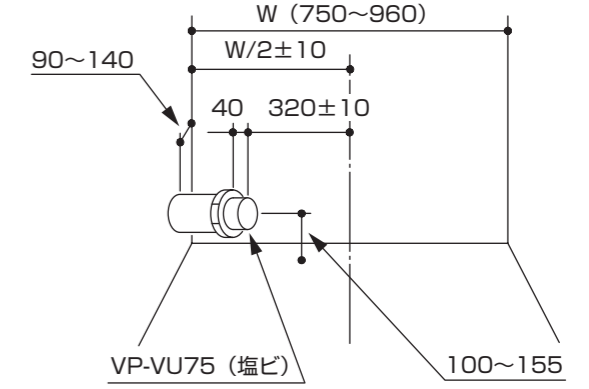
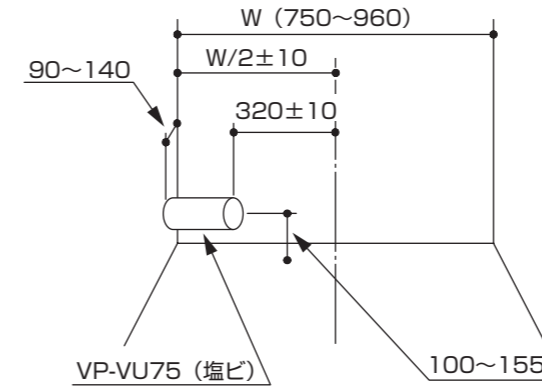
・施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。

排水位置

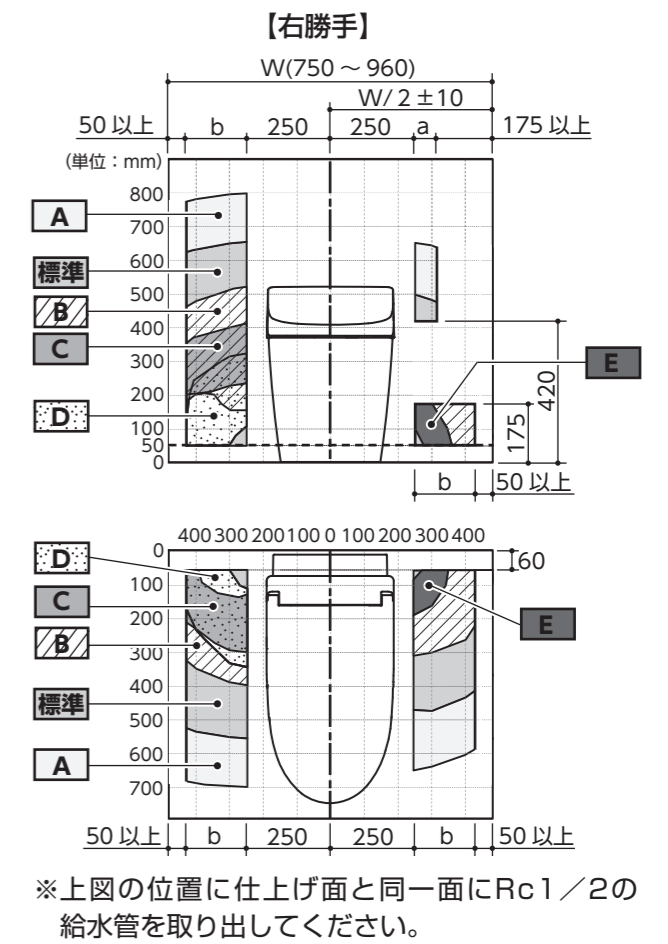
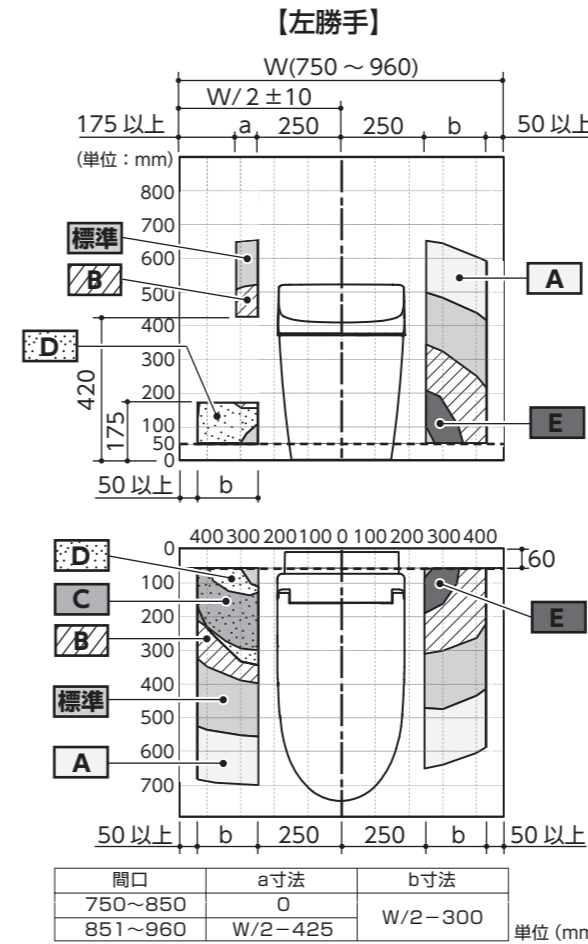
・下図は左抜きの場合を示します。右抜きの場合は左右反転となります。

別売品の排水ジョイント (HP82S) が必要です。

【フランジ付配管の場合】



給水位置

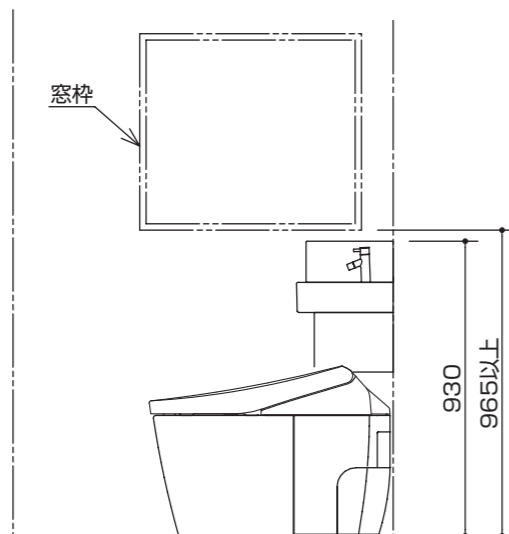


標準	A	B	C	D	E
リモデル標準給水ホース 止水栓範囲(700mm)	860mm TN111L86 ¥11,000 (税抜)	550mm TN111L552 ¥12,800 (税抜)	450mm TN111L45 ¥10,500 (税抜)	400mm TN111L40* ¥13,000 (税抜)	370mm TN111L37*2 ¥12,000 (税抜)

*1 エルボが同梱されております。 *2 長さ調整用の継手が同梱されております。

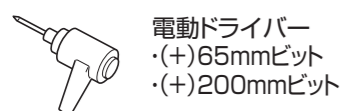
4 窓枠

窓がある場合、下図のような制約が付きまます。事前に製品と干渉しないように注意してください。



5 必要工具

※一般水道工事に使う工具以外に、下記の工具を用意してください。



電動ドライバー
・(+) 65mm ビット
・(+) 200mm ビット



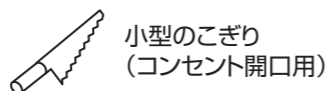
のこぎり



シリコーン系
シーラント



電動ドリル
φ3、φ6、φ9

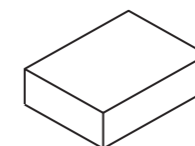


小型のこぎり
(コンセント開口用)

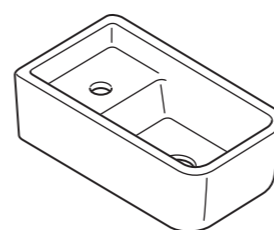
3.部品の確認

・専用の施工説明書が同梱されている商品は、外装箱のみ表記しています。

ウォシュレット(共通部品)



手洗器部(共通部品)

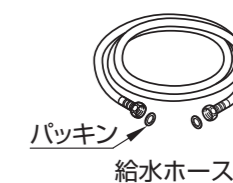


手洗器本体



ハンドル式水栓

給水ホース

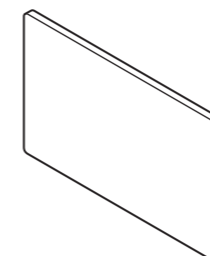


パッキン
給水ホース

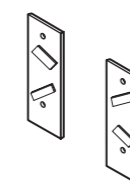


リモデル給水ホース
※パッキン付き
(リモデルのみ同梱)

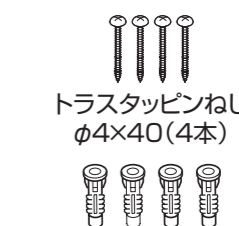
バックパネルセット



バックパネル本体



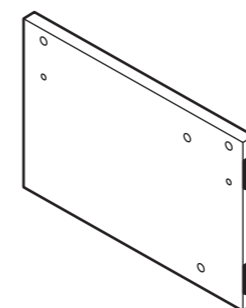
バックパネル固定金具
(2個)



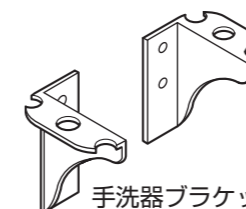
トラスタッピンねじ
φ4×40(4本)

ボードアンカー(4本)

手洗器固定セット



手洗器ブラケット取付板



手洗器ブラケット(2個)



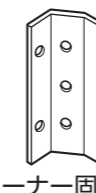
平座金
(3枚)



固定ブッシュ
(3個)



小ねじ
M5×35(3本)



コーナー固定金具



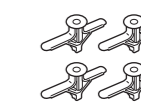
皿タッピンねじ
φ4×12(4本)



トラスタッピンねじ
φ4×70(7本)



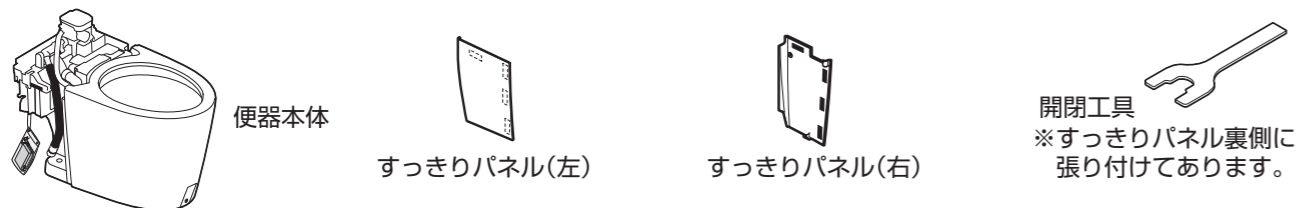
クッション材



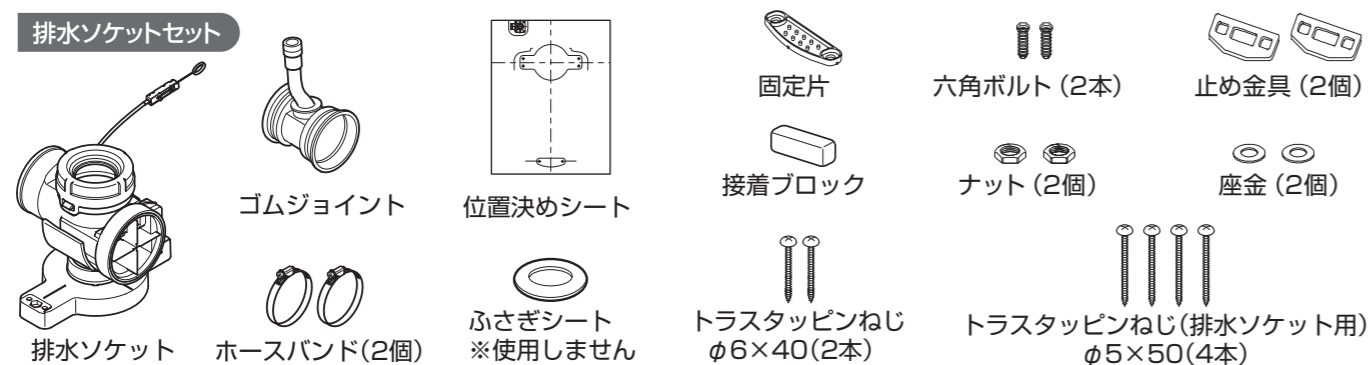
ボードアンカー
(4本)

後ろ抜き（排水心高さ120mm）給水隠ぺいタイプ・便器品番：CS987BDP

大便器



排水ソケットセット他

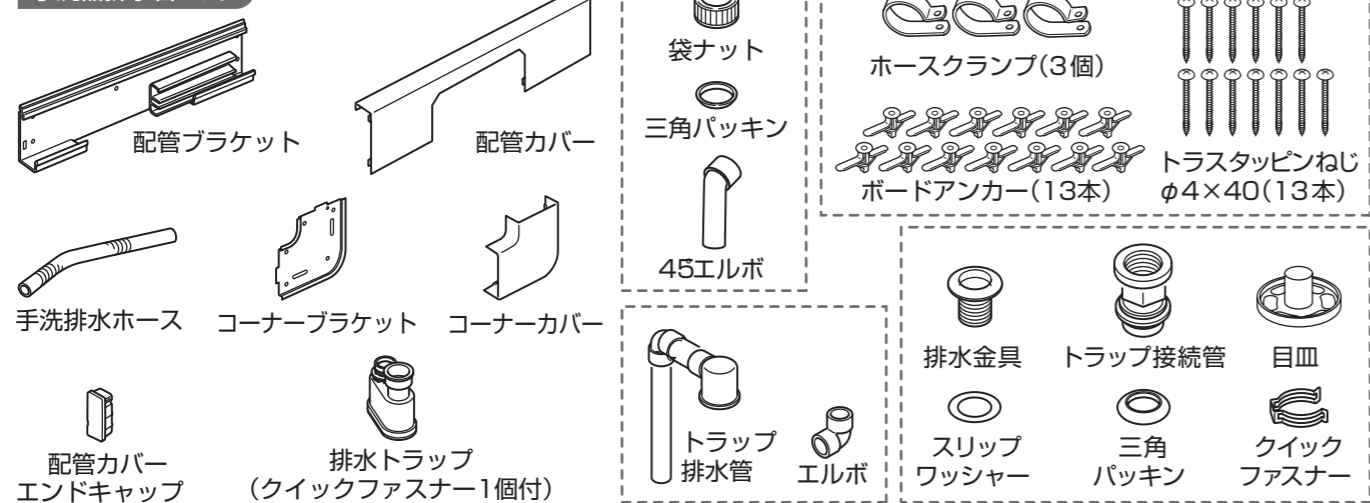


給水金具セット

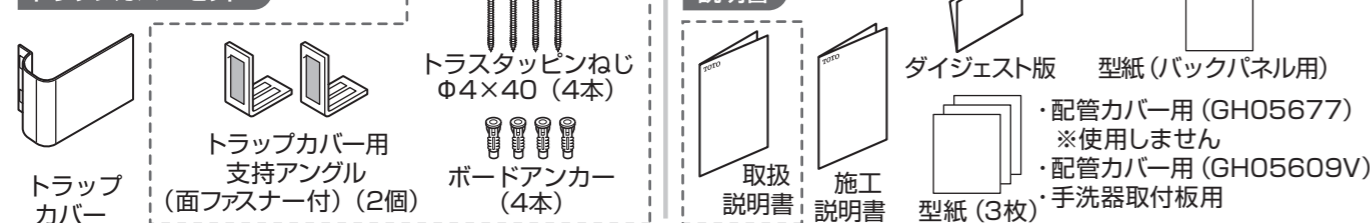
※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。



手洗器排水管セット

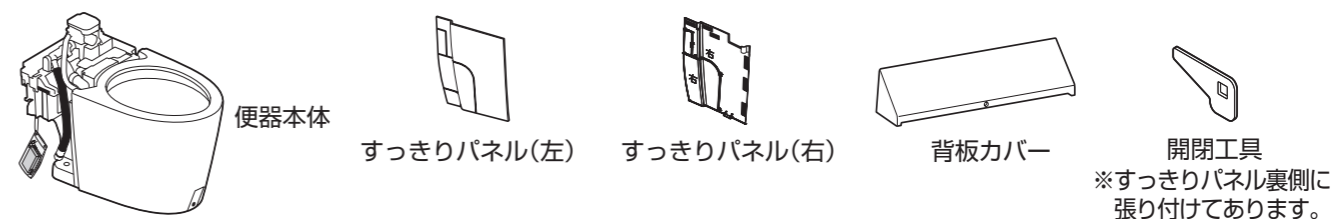


トラップカバーセット

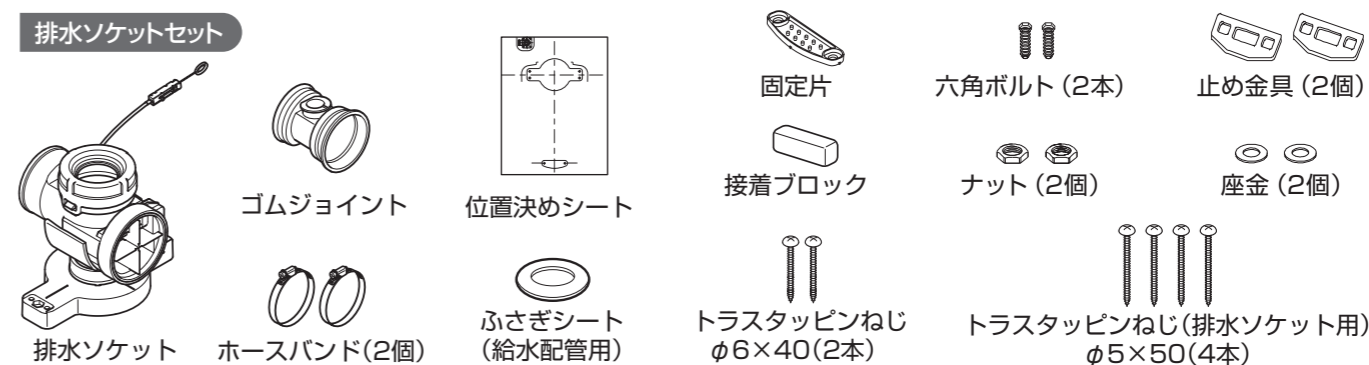


後ろ抜きリモデル(排水心高さ120～155mm)給水露出タイプ・便器品番：CS987BDX

大便器



排水ソケットセット他

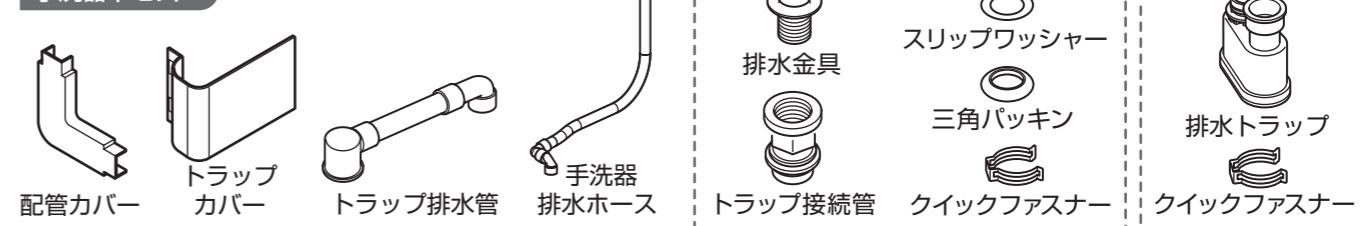


給水金具セット

※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。



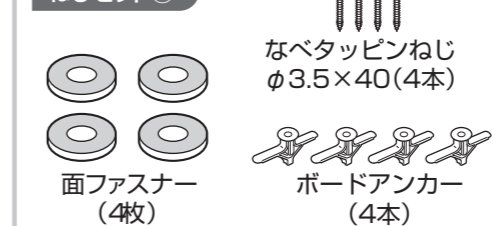
手洗器下セット



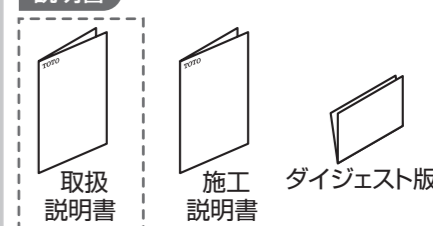
ねじセット①



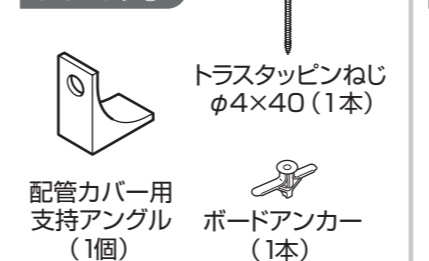
ねじセット②



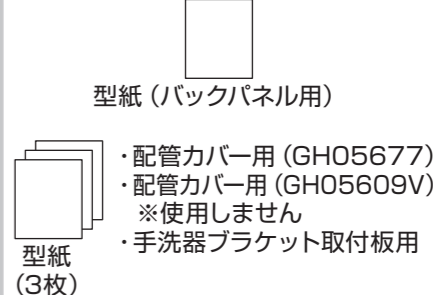
説明書



ねじセット③

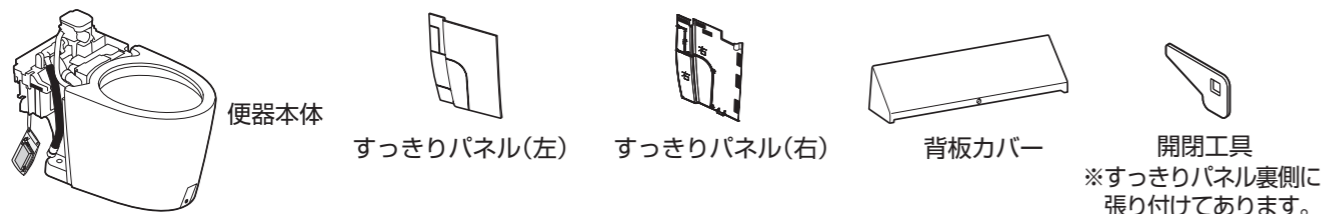


ねじセット④

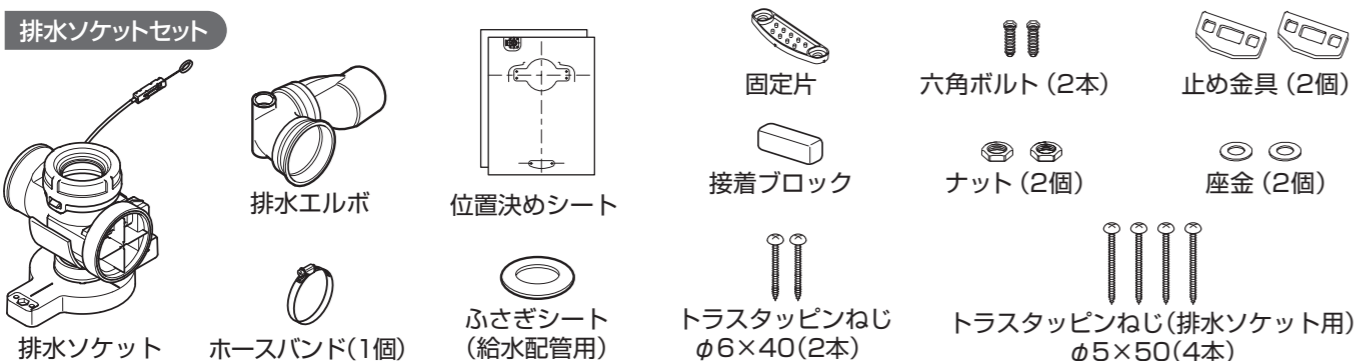


左右抜きリモデル(排水心高さ100～155mm) 給水露出タイプ・便器品番:CS987BDX

大便器



排水ソケットセット他



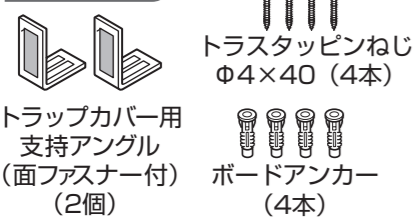
給水金具セット ※止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください。



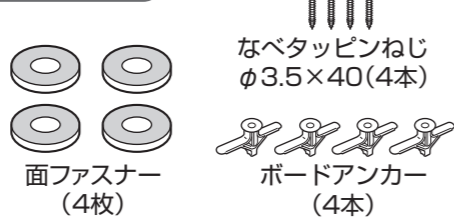
手洗器下セット



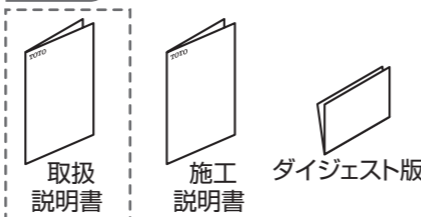
ねじセット①



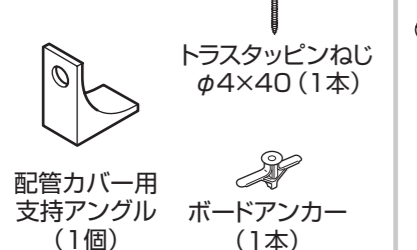
ねじセット②



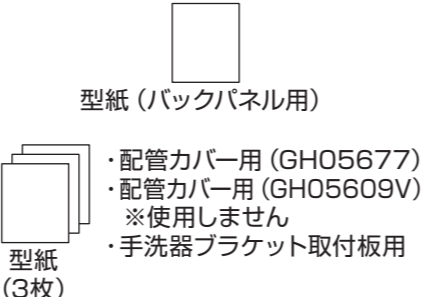
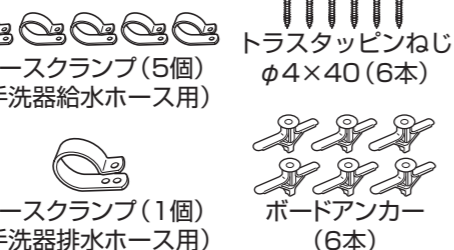
説明書



ねじセット③



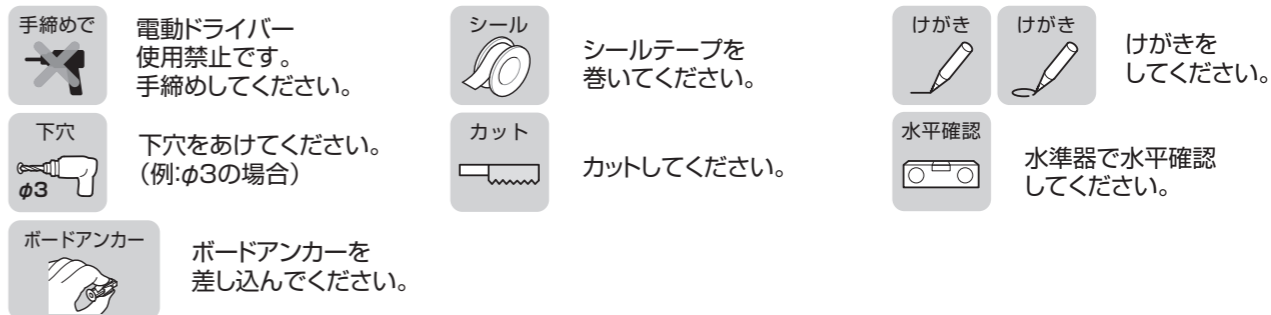
ねじセット④



手順編

	給水タイプ	給水隠ぺい	給水露出
1.給水・排水部		▶16	▶18
2.手洗器			▶24
3.手洗給水・排水管	給水タイプ	給水隠ぺい	給水露出
		▶27	▶31
4.バックパネル			▶35
5.水漏れ確認			▶36
6.手動レバー			▶37
7.大便器			▶38
8.ウォシュレット			▶39
9.確認・仕上げ			▶40

マーク表示



後ろ抜き 後ろ抜きリモデル 左右抜きリモデル

1. 給水・排水部

給水隠ぺいタイプ
便器品番:CS987BDP

「給水露出タイプ」の場合
P.18を参照してください。

1 排水ソケット取付位置
のけがき

▶P.16

2 止水栓・分岐金具
の取り付け

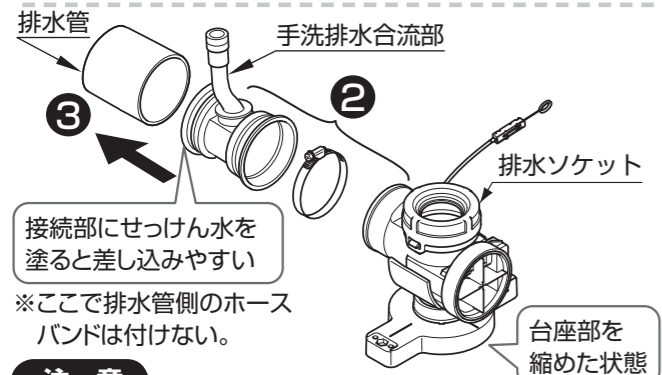
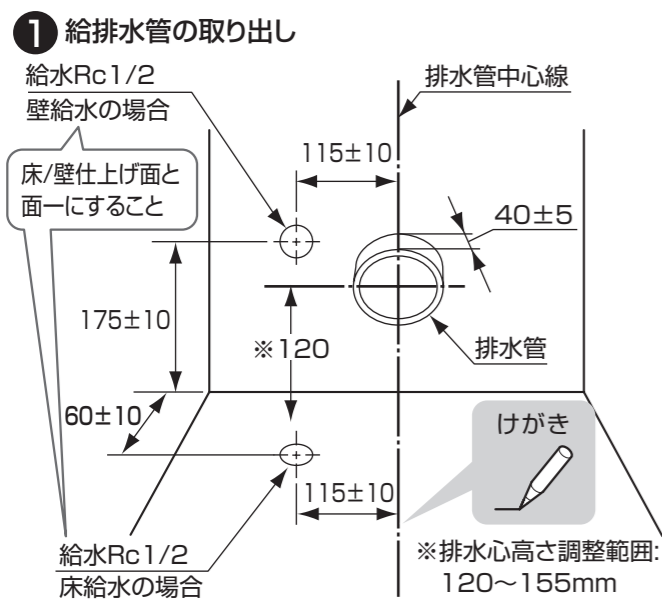
▶P.17

3 排水ソケットの取り付け

▶P.17

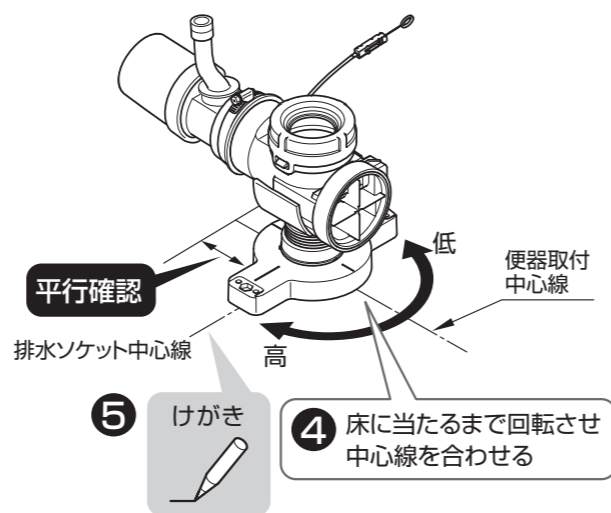
後ろ抜き (排水心高さ120mm)

1 排水ソケット取付位置のけがき

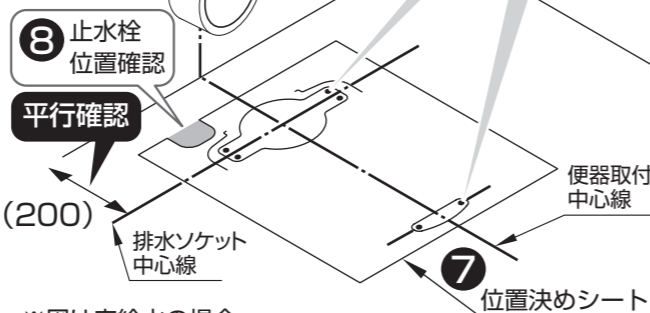
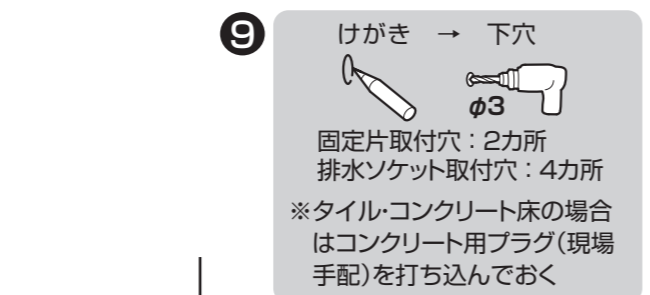


注意
手洗排水合流部が真上になるように接続する
排水の勾配が確保できないおそれがあります。

注意
バンドは手締めにてしっかり締め付ける
電動ドライバーで締め付けると、ゴムジョイントが破れ水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。



6 排水ソケットをいったん外す



※図は床給水の場合
※寸法出しは後壁から(幅木からではありません)。
※給水位置が適切でないと止水栓が製品に干渉することがあります。

2 止水栓・分岐金具の取り付け

床給水

1 シール
ふさぎシートを張る

2

手洗い側

便器・ウォシュレット

2

正面

壁給水

1 ふさぎシートを張る
シール

2

手洗い側

便器・ウォシュレット

2

正面

注意
取付方向を間違えない

注意
止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓(フィルター付き)を取り付けてください
設置しただけの場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

3 排水ソケットの取り付け

排水管

接続部にせっけん水を塗ると差し込みやすい

1

台座部を縮めた状態

低

高

2 床に当たるまで回転させ
壁と平行になるように調整

注意
必ず守る
ゴムジョイントによる接続では、逆勾配とならないように注意する
器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。

注意
必ず守る
バンドは手締めにてしっかり締め付ける
電動ドライバーで締め付けると、ゴムジョイントが破れ水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。

トラスタッピンねじ
φ5×50(左右計4本)

4

3

六角穴

注意
必ず守る
排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にめ込む
便器がガタつくおそれがあります。

後ろ抜き 後ろ抜きリモデル 左右抜きリモデル

1.給水・排水部

給水露出タイプ
便器品番:CS987BDX

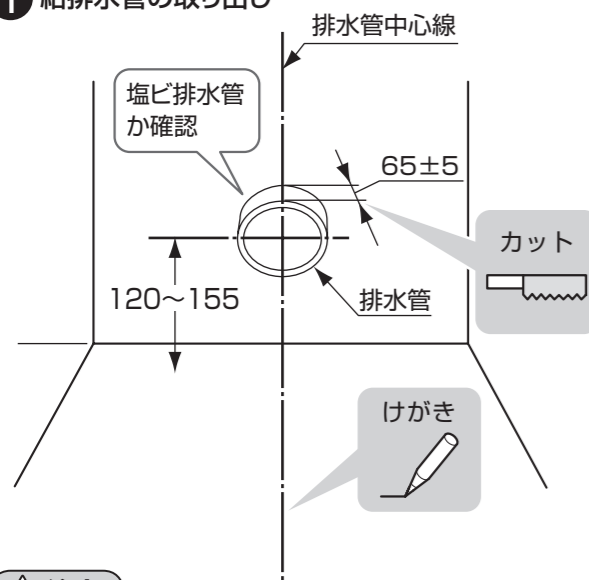
「給水隠ぺいタイプ」の場合
P.16を参照してください。

後ろ抜きリモデル	1 排水ソケット 取付位置のけがき ▶P.18	2 排水ソケット・床継手の 取り付け ▶P.19	3 分岐金具 の取り付け ▶P.20	4 給水ホース の接続 ▶P.20	5 止水栓 の取り替え ▶P.21
	1 排水ソケット 取付位置のけがき ▶P.21	2 床継手の 取り付け ▶P.22	3 分岐金具 の取り付け ▶P.22	4 給水ホース の接続 ▶P.22	5 排水ソケット の取り付け ▶P.22

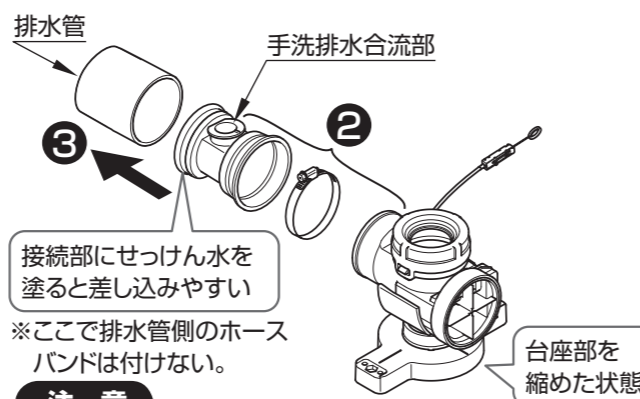
後ろ抜きリモデル (排水心高さ120~155mm)

1 排水ソケット取付位置のけがき

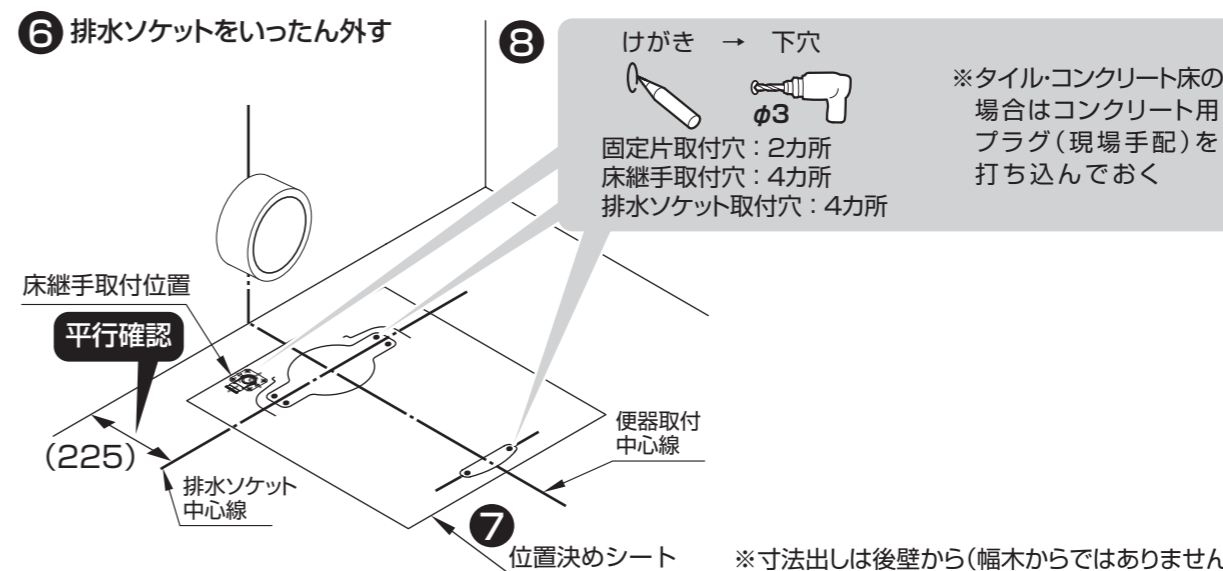
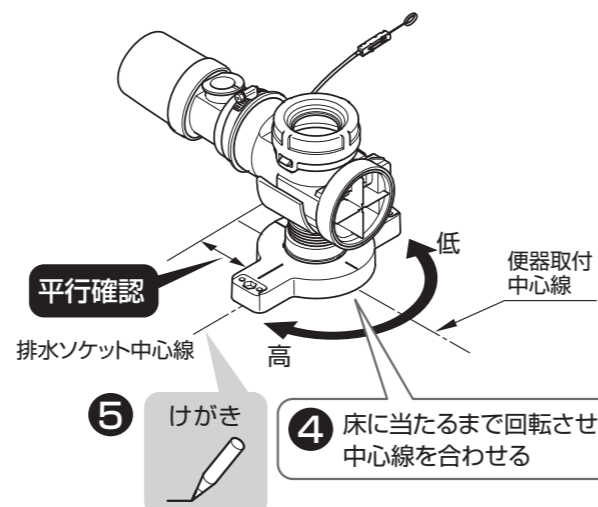
① 給排水管の取り出し



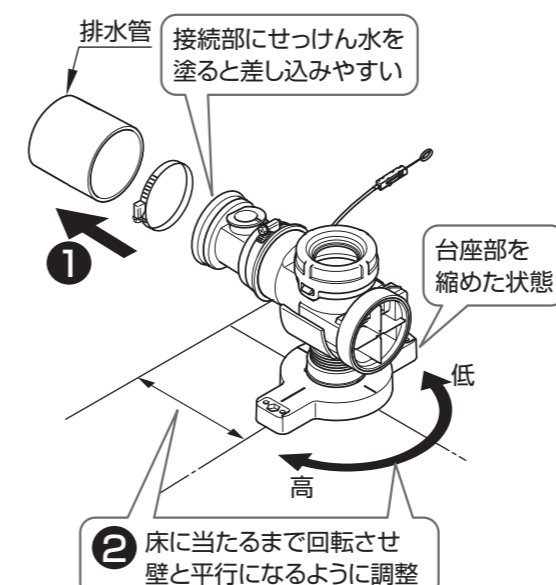
- 注意**
既設排水管切断面は、斜めにならないようにカットする
水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
- 必ず守る**
既設排水管切断面のバリなどは、必ず取り除く
水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。



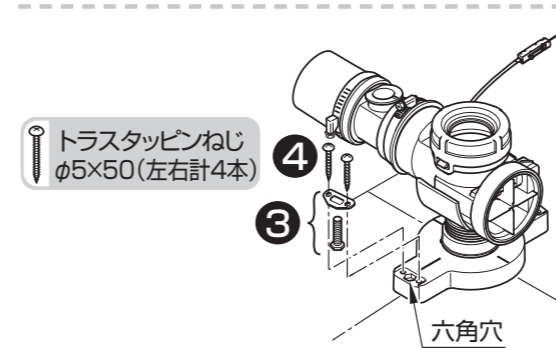
- 注意**
手洗排水合流部が真上になるように接続する
排水の勾配が確保できないおそれがあります。
- 必ず守る**
バンドは手締めにてしっかり締め付ける
電動ドライバーで締め付けると、ゴムジョイントが破れ水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。



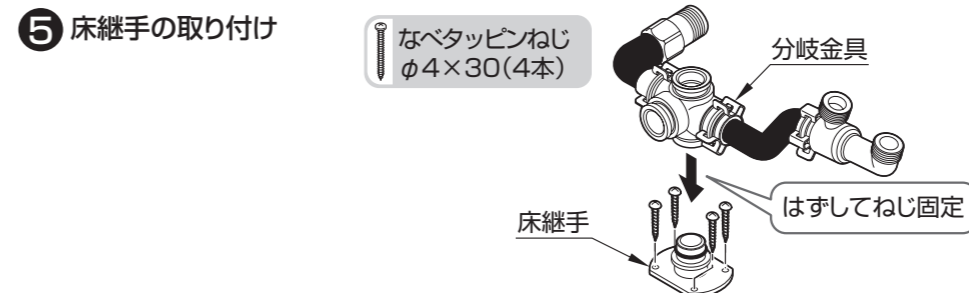
2 排水ソケット・床継手の取り付け



- 注意**
必ず守る
ゴムジョイントによる接続では、逆勾配とならないように注意する
器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。
- 注意**
必ず守る
バンドは手締めにてしっかり締め付ける
電動ドライバーで締め付けると、ゴムジョイントが破れ水漏れして家財などをめらす財産損害発生の原因となります。
- ポイント**
ホースバンドの締め付け部は真上にこないようにする



- 注意**
必ず守る
排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にはめ込む
便器がガタつくおそれがあります。

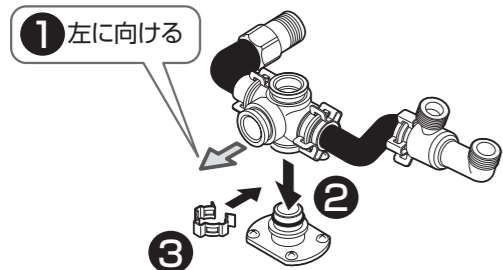


後ろ抜き 後ろ抜きモデル 左右抜きモデル

3 分岐金具の取り付け

※インシュロックは切らないでください。

給水位置が左側にある場合

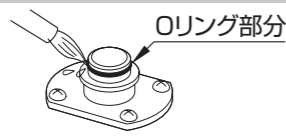


給水位置が右側にある場合

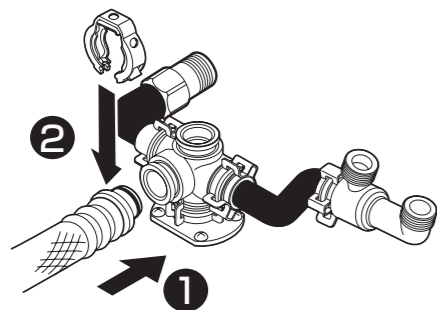


ポイント

リング部分に水をつけると取り付けやすい

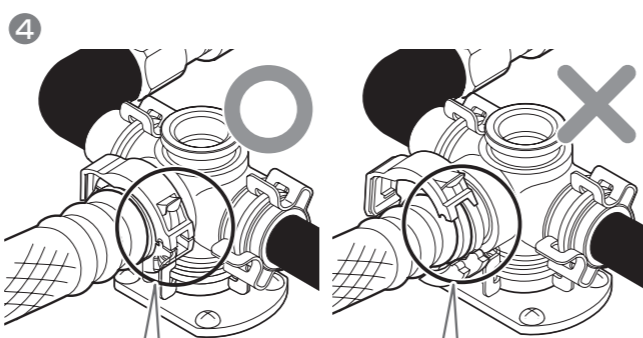
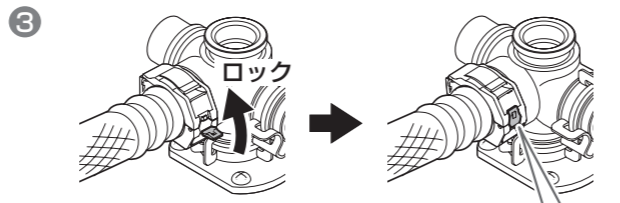
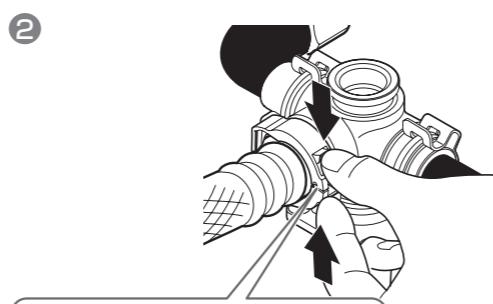
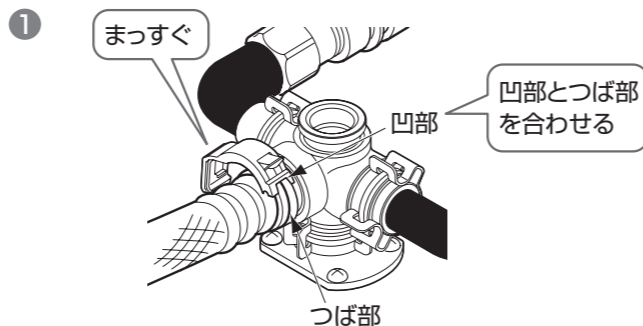


4 給水ホースの接続

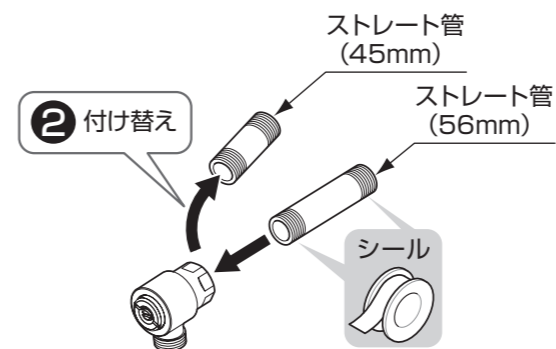
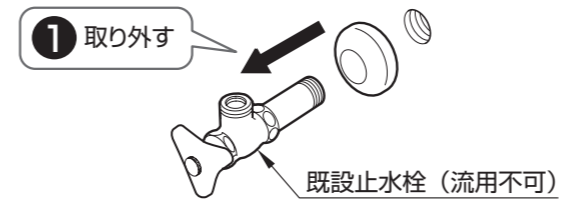


※分岐金具と給水ホースは、便器取り付け時に挟まない位置に取り回しておいてください。

クイックファスナーの取り付けかた

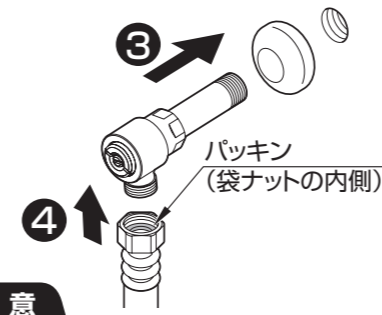


5 止水栓の取り替え



ポイント

56mmのストレート管に付け替えない場合、配管カバーにあたります。

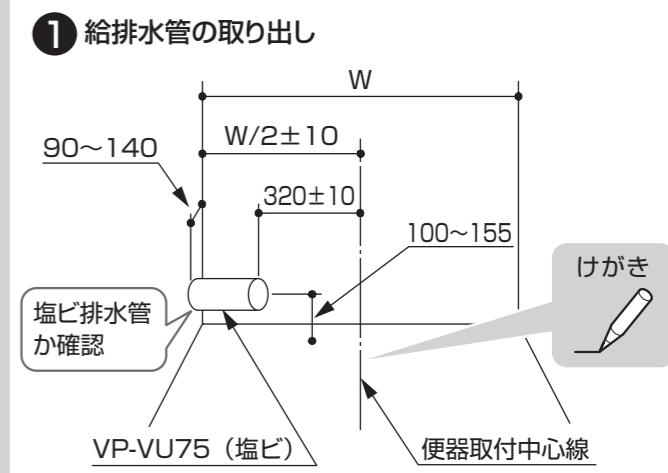


注意

止水栓は必ず製品同梱の専用止水栓（フィルター付き）を取り付けてください
設置いただけない場合、フィルターがないため給水管内の異物が除去されず、ゴミかみや異物詰まりによる止水・吐水不良を起こすおそれがあります。

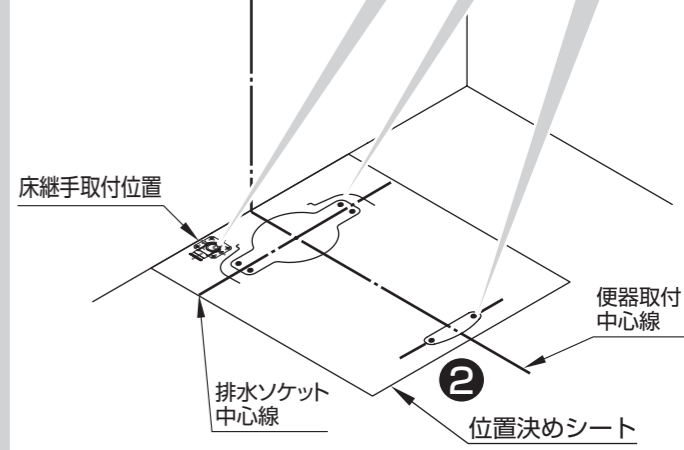
左右抜きモデル(排水心高さ100~155mm)

1 排水ソケット取付位置のけがき



※別売の排水ジョイント(HP82S)を必ず使用してください。

3 けがき → 下穴
固定片取付穴：2カ所
床継手取付穴：4カ所
排水ソケット取付穴：4カ所
※タイル・コンクリート床の場合はコンクリート用プラグ(現場手配)を打ち込んでおく



※寸法出しは後壁から(幅木からではありません)。

注意

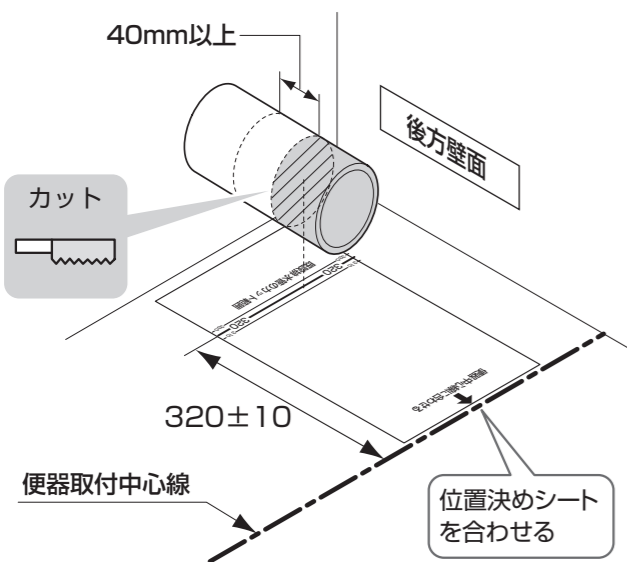
- 分岐金具と給水ホースはすき間ができないように確実に押し込む
- クイックファスナーは正しく取り付け、目視などで確認する
- カバーが閉まらない場合は、必ずクイックファスナーを取り外して正しく接続し直す

取り付けが不十分な場合、外れて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

MEMO

後ろ抜き 後ろ抜きリモデル 左右抜きリモデル

4 既設排水管の長さ調整



ポイント

排水ジョイントとの接続代は40mm以上確保する

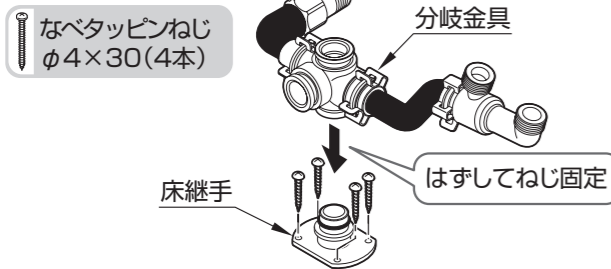
注意

既設排水管切断面は、斜めにならないようにカットする
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



既設排水管切断面のバリなどは、必ず取り除く
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

2 床継手の取り付け



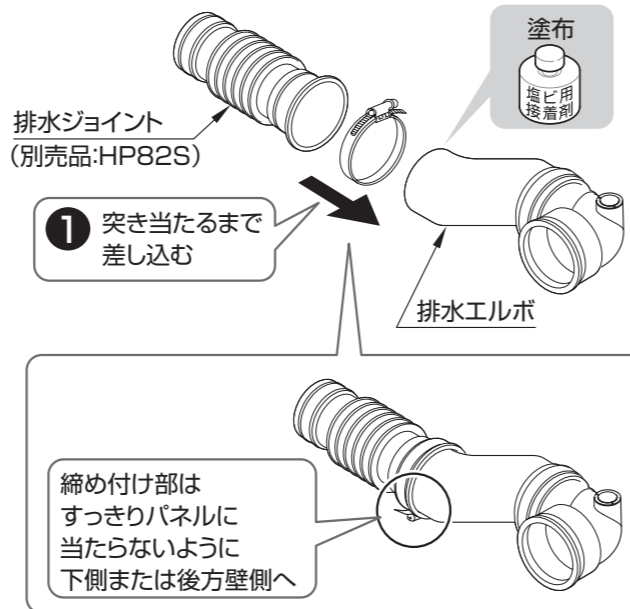
3 分岐金具の取り付け

▶P.20「3 分岐金具の取り付け」

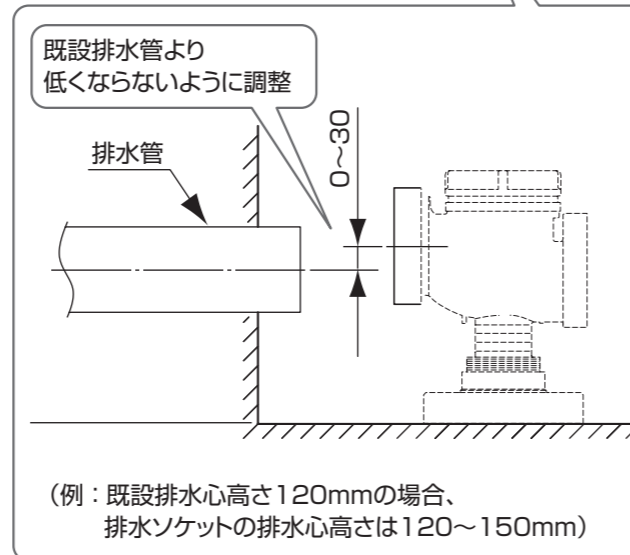
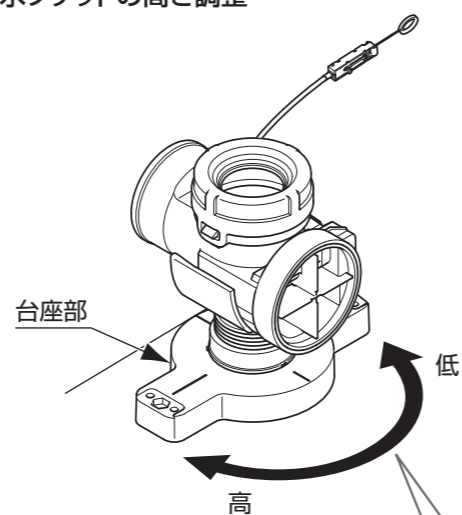
4 給水ホースの接続

▶P.20「4 給水ホースの接続」

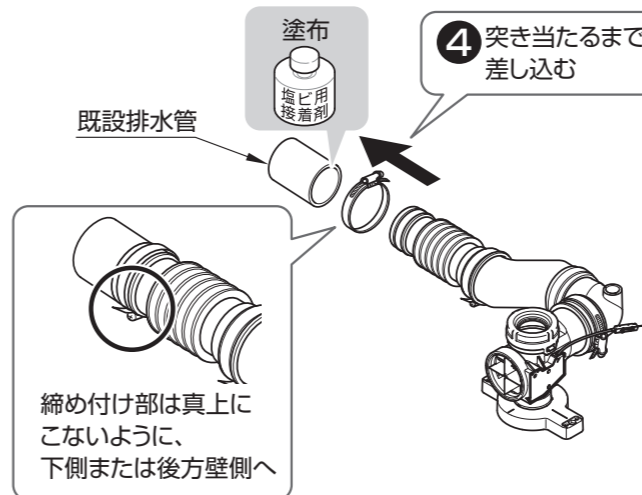
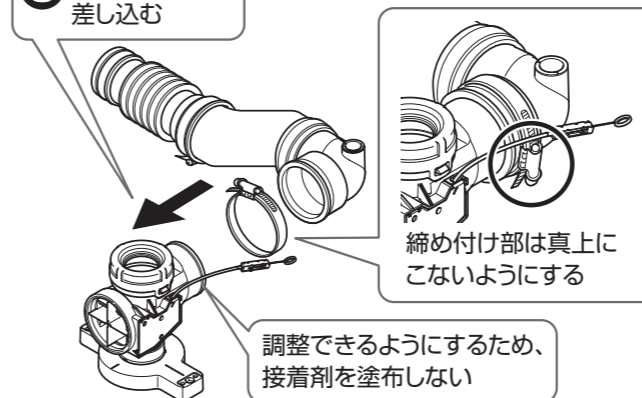
5 排水ソケットの取り付け



2 排水ソケットの高さ調整



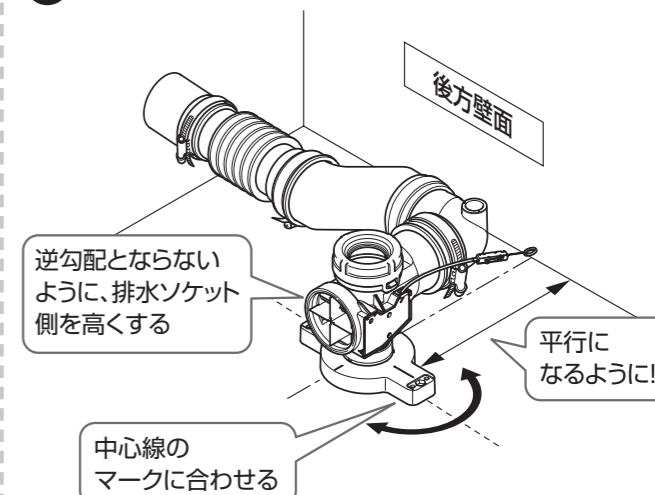
3 突き当たるまで差し込む



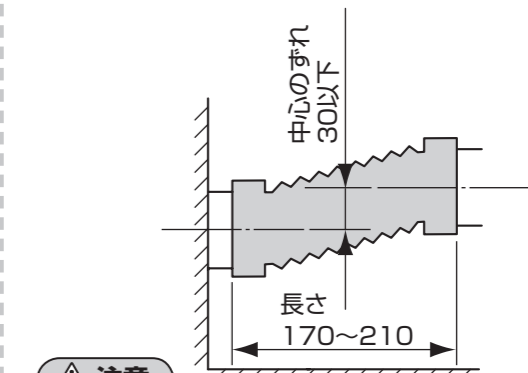
注意

ホースバンドでの固定の際には、排水エルボや排水ジョイントにシワができないように締め付ける
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

5 排水ソケットの取り付け

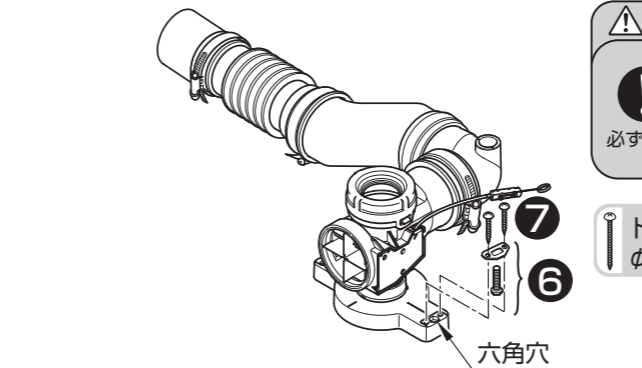


【排水ジョイント調整範囲】



注意

排水ジョイントによる接続では、逆勾配とならないように注意する
排水ジョイントや排水エルボがつぶれたり無理な力が加わっていないか確認する
器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。



注意

排水ソケット台座部の六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にはめ込む
便器がガタつくおそれがあります。

トラスタッピンねじ φ5×50(左右計4本)

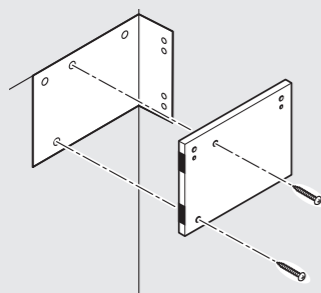
6 止水栓の取り替え

▶P.21「5 止水栓の取り替え」

MEMO

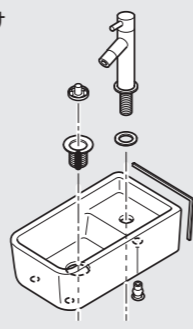
2. 手洗器

1 手洗器固定部材の取り付け



▶P.24

2 手洗器の取り付け



▶P.26

1 手洗器固定部材の取り付け

2 けがき → 下穴※
φ6
取付穴：4カ所

※【下地が合板の場合】
下穴
φ3
※ボードアンカーは
使用しない

1 壁の隅と型紙の
折り目を合わせる

けがき 型紙1

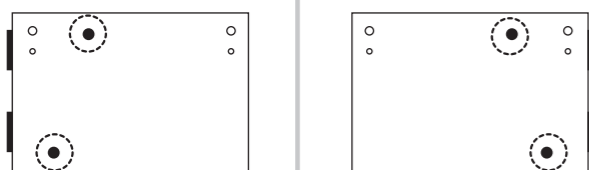
面ファスナー

3 手締めで

トラスタッピンねじ
φ4×70(2本)

2 けがき → 下穴※ → ボードアンカー
φ9
取付穴：4カ所

手洗器ブラケット取付板取付穴位置
【左勝手】 【右勝手】



隅柱がある場合

※隅柱がない場合は、コーナー固定金具は必要ありません。
「7 手洗器ブラケットの取り付け」へ進んでください。

4 1 上端合わせ

2 下穴
φ3

すき間なく
押し当てる

後壁

コーナー固定金具

5 トラスタッピンねじ
φ4×70(3本)

手締めで

6 1 下穴
φ3

2

手締めで

皿タッピンねじ
φ4×12(2本)

隅柱がある場合/ない場合

7 手洗器ブラケットの取り付け

トラスタッピンねじ
φ4×70(上側2本)

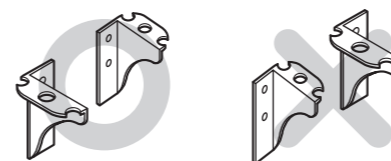
7

手締めで

皿タッピンねじ
φ4×12(下側2本)

ポイント

- 手洗器ブラケット取付板の下穴に固定
- 手洗器ブラケットの向きに注意



後ろ抜き(排水心高さ120mm) 給水隠ぺいタイプ・便器品番:CS987BDP

8 ボードアンカー

長穴の中心を固定
中心

9 (ねじセット①
に同梱)

手締めで

トラスタッピンねじ
φ4×40(4本)

後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデル 給水露出タイプ・便器品番:CS987BDX

壁の隅と型紙の
折り目を合わせる

型紙2
(GH05677)

合板下端に
合わせる

8 けがき → 下穴※ → ボードアンカー
φ9

・配管カバー用面ファスナー(4カ所)
・手洗器給水ホースバンド(3カ所)
・配管カバー用支持アングル(1カ所)
・排水ホース用支持アングル(1カ所)

※【下地が合板の場合】
下穴
φ3
※ボードアンカーは
使用しない

9 ボードアンカー

長穴の中心を固定
中心

トラスタッピンねじ
φ4×40(4本)

10 (ねじセット①
に同梱)

12 (ねじセット③
に同梱)

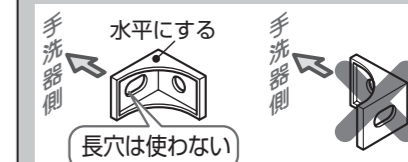
トラスタッピンねじ
φ4×40(1本)

11 (ねじセット②
に同梱)

面ファスナー

ポイント

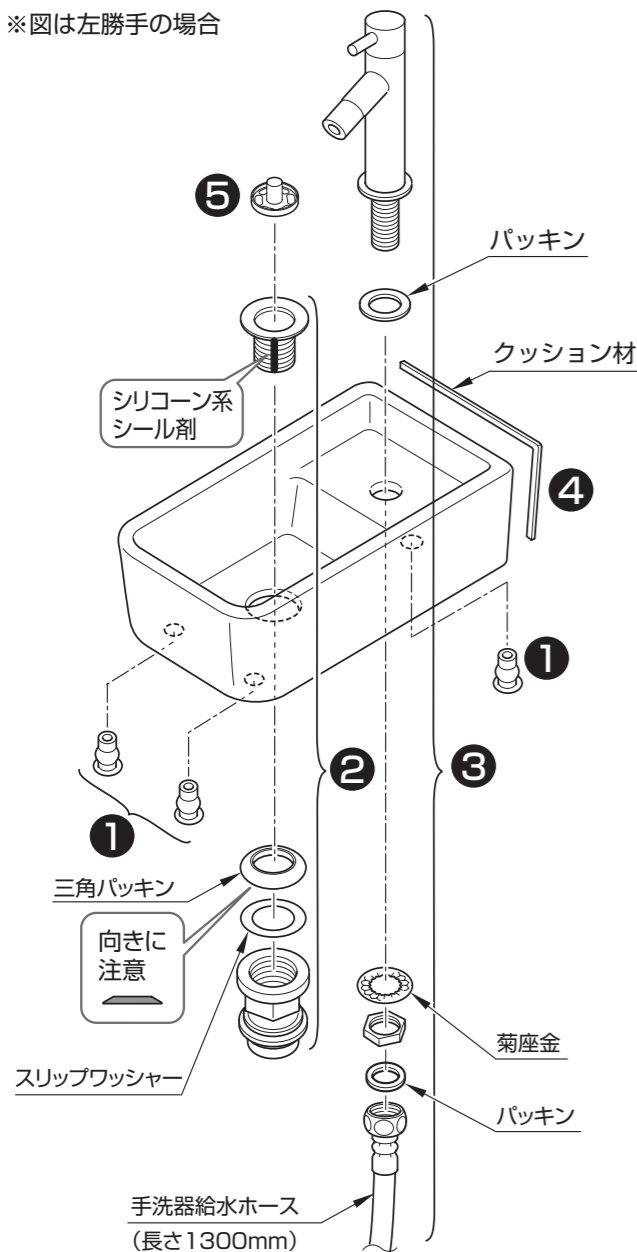
向きに注意!



後ろ抜き 後ろ抜きリモデル 左右抜きリモデル

2 手洗器の取り付け

※図は左勝手の場合



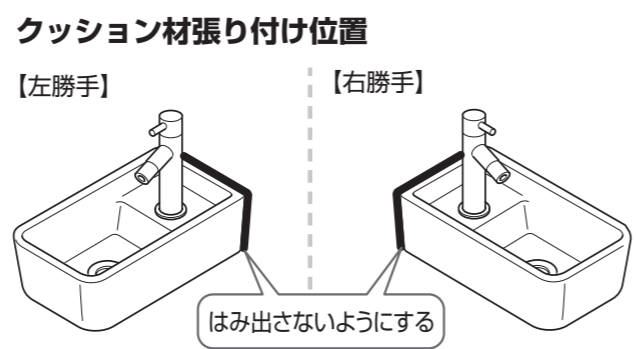
ポイント
取り付けねじで押す

ポイント
六角ナット・フレキホースの締め付けにTZ工具を使用すると作業がしやすくなります。
(別売品:TZY15NもしくはTZ15L)

注意

必ず守る
排水金具ねじ部には、必ずシリコン系シール剤を塗布する
水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

禁止
接続管を締め過ぎない
排水金具が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。
(手締めで止まる位置まで回し、工具にて半回転締め付けるくらいが適切です。)



後ろ抜き（排水心高さ120mm）の場合

5 目皿を取り付ける
※後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデルには目皿はありません。

ポイント
手洗器を奥壁に押し当てる

小ねじ M5×35(3本)

座金

6 手締めで

3.手洗給水・排水管

給水隠ぺいタイプ 便器品番:CS987BDP 「給水露出タイプ」の場合 P.31を参照してください。

後ろ抜き(排水心高さ120mm)

1 配管ブラケットの取り付け P.27

2 排水管の取り付け P.28

3 手洗給水ホースの接続 P.30

後ろ抜き（排水心高さ120mm）

1 配管ブラケットの取り付け

手洗器ブラケット取付板下端

型紙の上端に合わせる

型紙 (GH05609V)

トラスタッピンねじ φ4×40(1本)

ホースクランプ

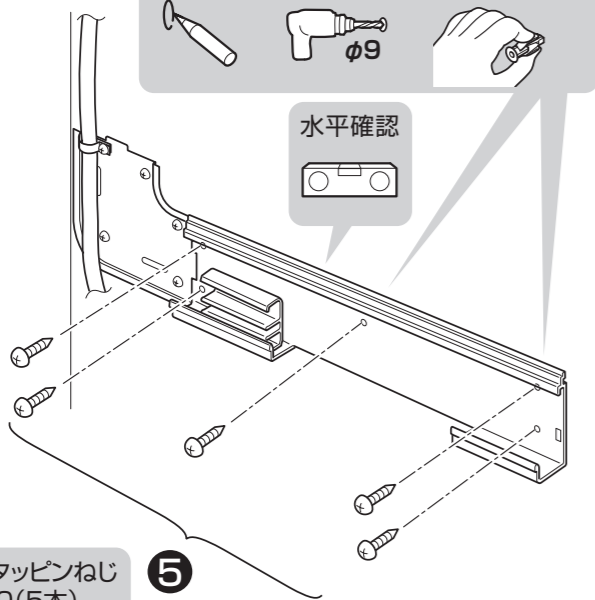
3

ポイント
ホースクランプの向きに注意

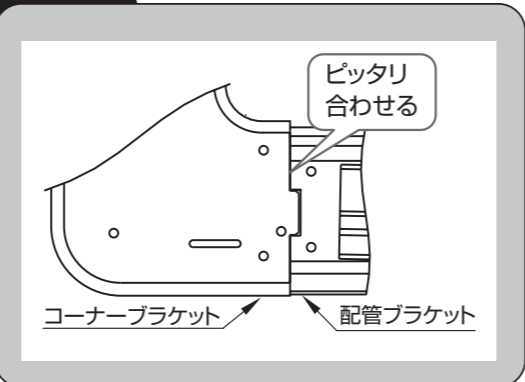
後ろ抜き 後ろ抜きリモデル 左右抜きリモデル

④ (3カ所)

けがき → 下穴※ → ボードアンカー



ポイント



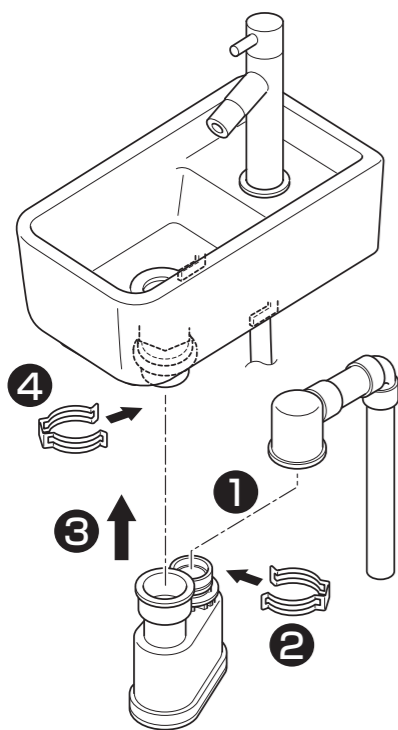
※【下地が合板の場合】

下穴

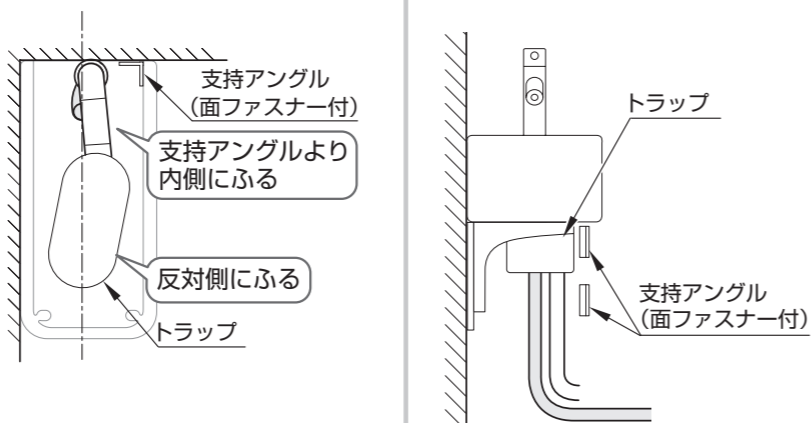


※ボードアンカーは使用しない

2 排水管の取り付け



トラップ位置調整 <左勝手の場合>

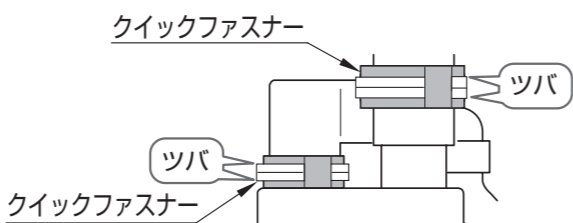


注意

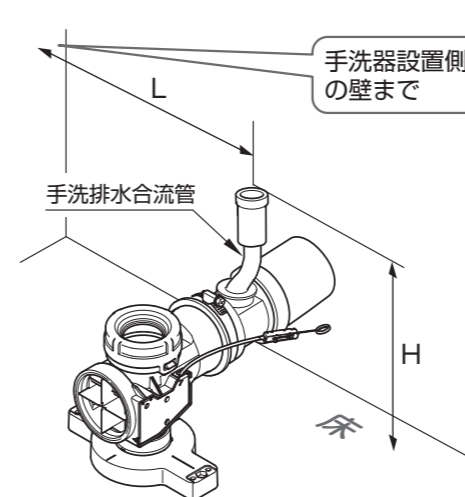
クイックファスナーが正しく固定されていることを確認する
※クイックファスナーがスムーズに1回転することを確認する
※クイックファスナーの全周にツバがかかっていることを確認する

必ず守る

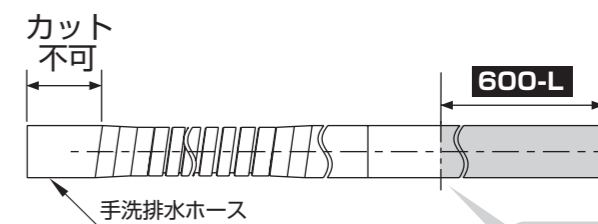
水漏れして家財などがぬれる財産損害発生の原因となります。



寸法H・Lの測定範囲



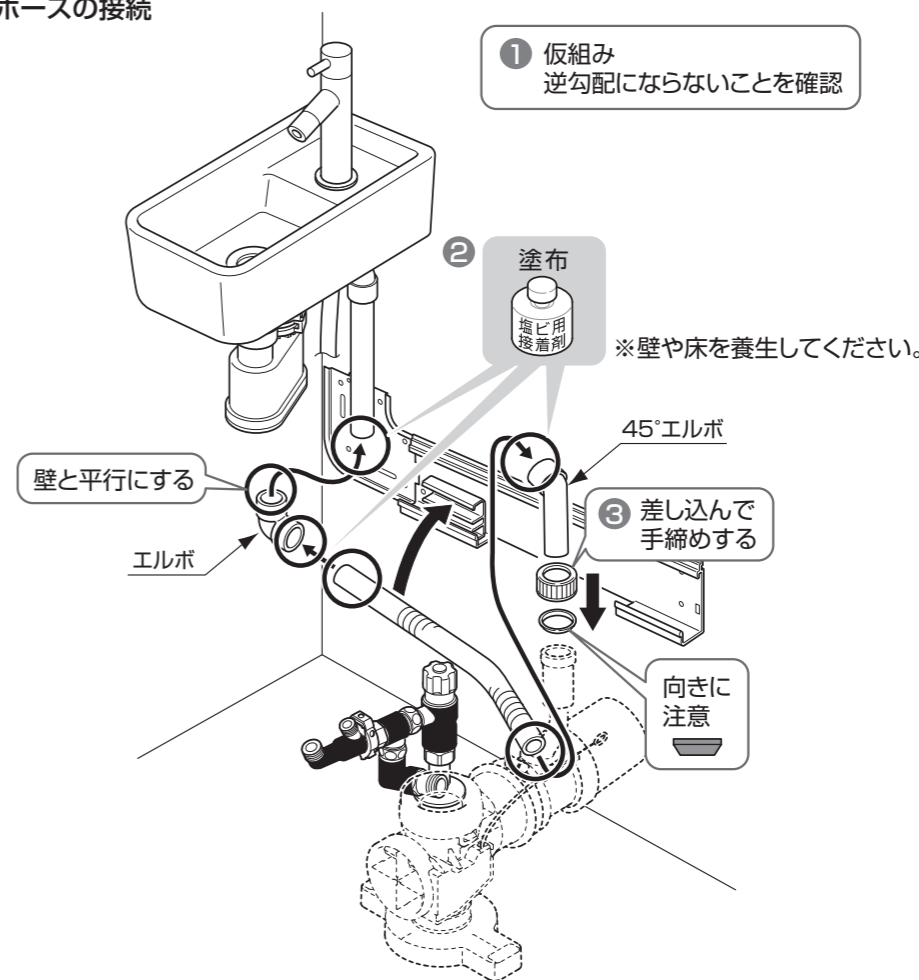
⑤ 手洗排水ホース・45°エルボのカット



注意

ホースカット時、押切タイプのパイプカッターは使用しない
ホースの断面が変形し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。

⑥ 手洗排水ホースの接続

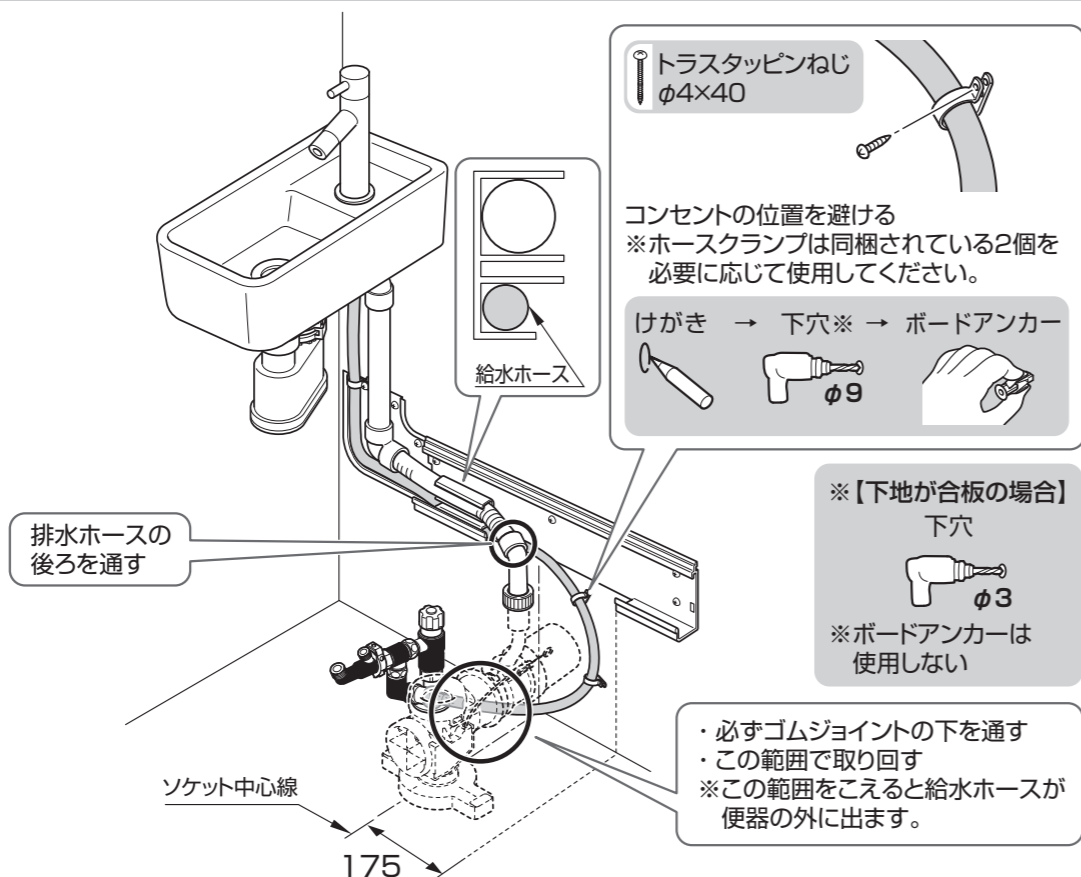


MEMO

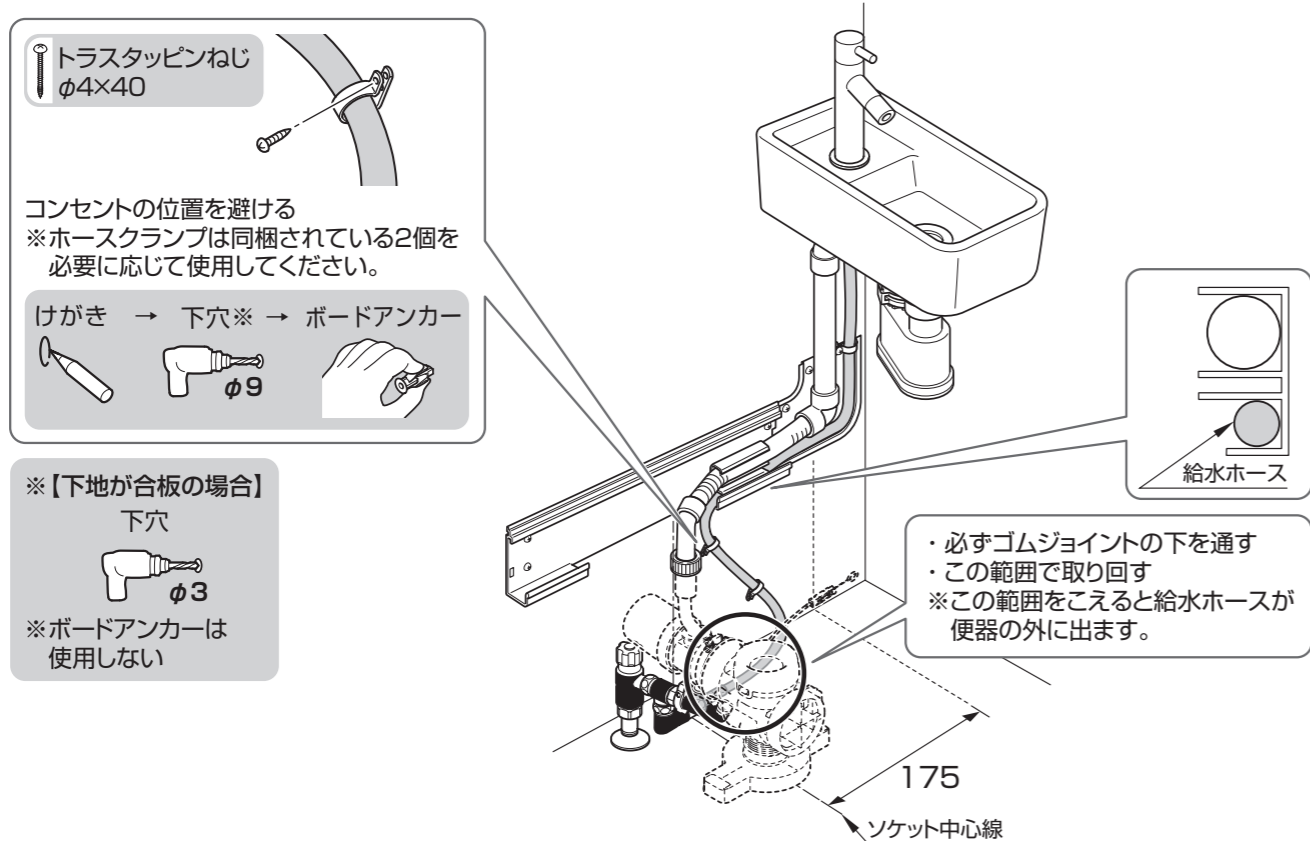
後ろ抜き | 後ろ抜きリモデル | 左右抜きリモデル

3 手洗給水ホースの接続

左勝手



右勝手

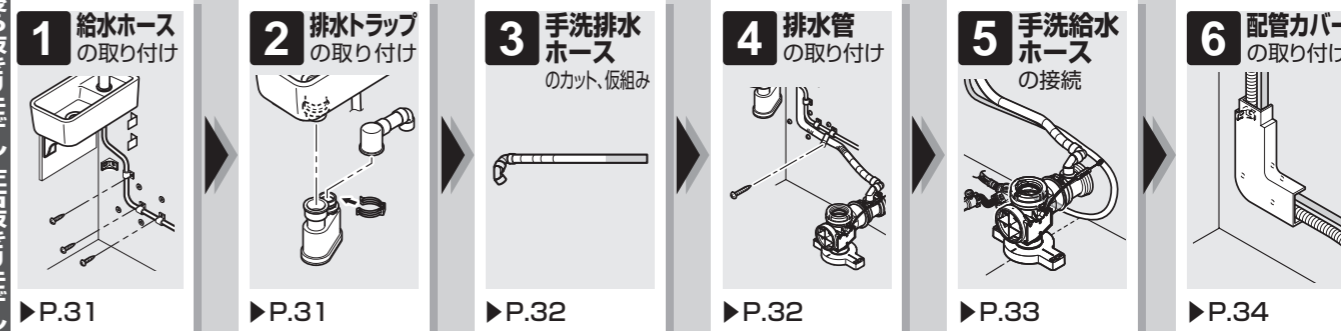


3.手洗給水・排水管

給水露出タイプ
便器品番:CS987BDX

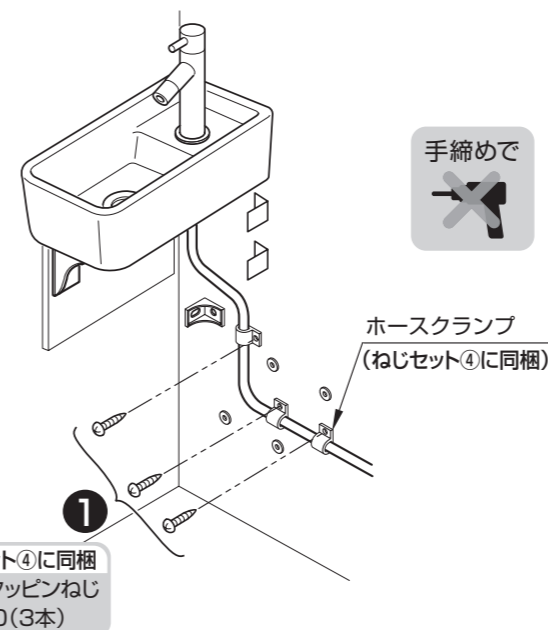
「給水隠ぺいタイプ」の場合
P.27を参照してください。

後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデル



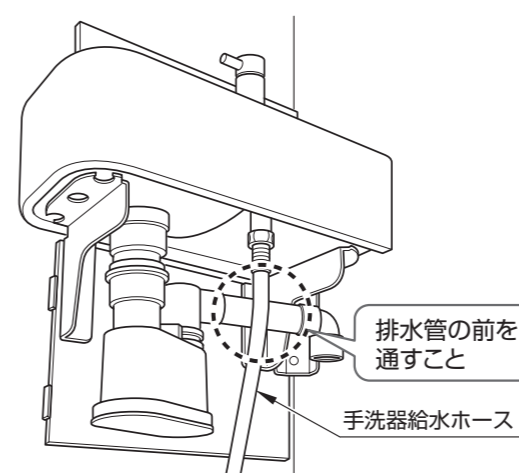
後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデル

1 給水ホースの取り付け



2 排水トラップの取り付け

【取り付け状態】

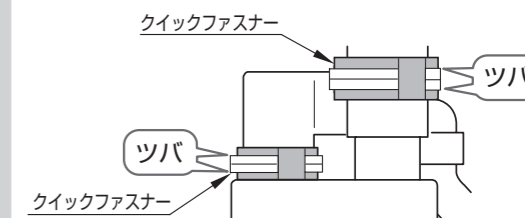


⚠ 注意

クイックファスナーが正しく固定されていることを確認する
※クイックファスナーがスムーズに1回転することを確認する
※クイックファスナーの全周にツバがかかっていることを確認する

水漏れして家財などがぬれる財産損害発生の原因となります。

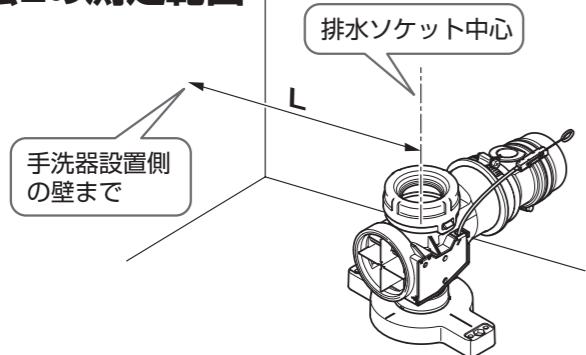
必ず守る



後ろ抜き 後ろ抜きモデル | 左右抜きモデル

3 手洗排水ホースのカット、仮組み

寸法Lの測定範囲

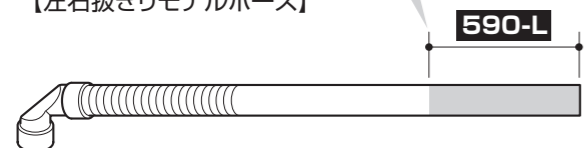


1 手洗器排水ホースのカット

【後ろ抜きモデルホース】



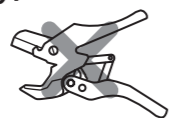
【左右抜きモデルホース】



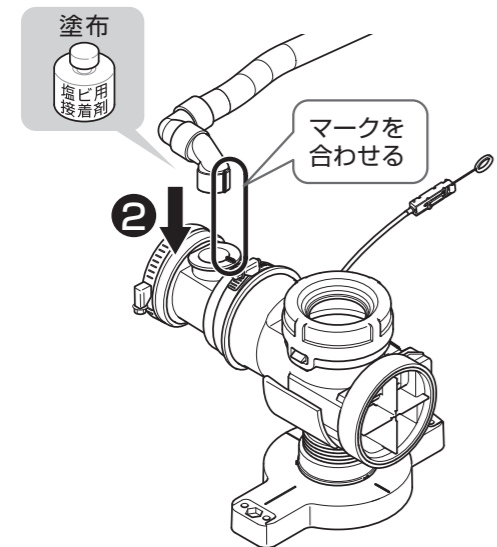
注意

ホースカット時、押切タイプのパイプカッターは使用しない

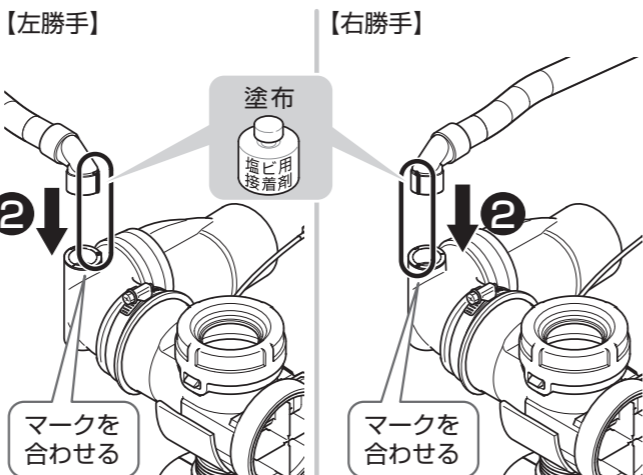
ホースの断面が変形し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



後ろ抜き



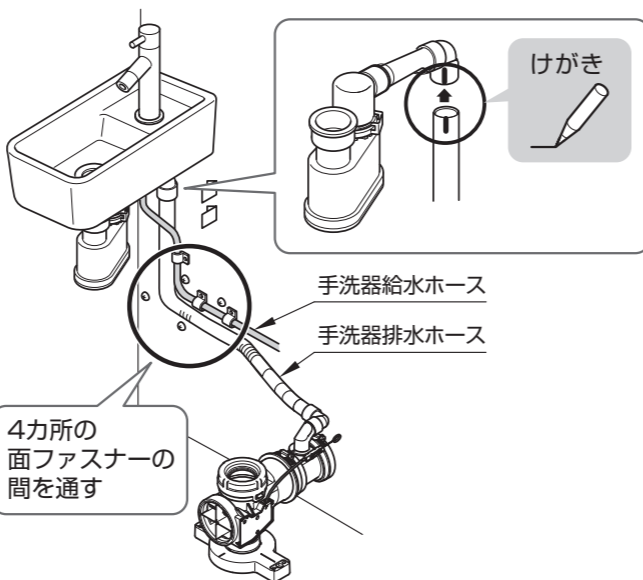
左右抜き



3 手洗器排水ホースの仮組み

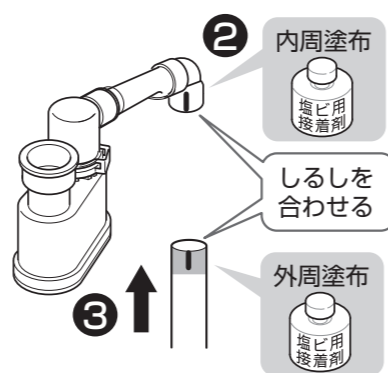
ポイント

手洗器排水ホースは逆勾配にならないことを確認する



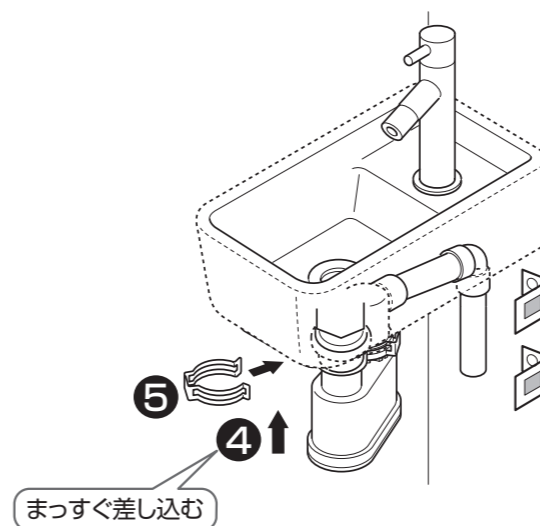
4 排水管の取り付け

1 排水トラップを排水金具からはずす



5 手洗給水ホースの接続

左勝手

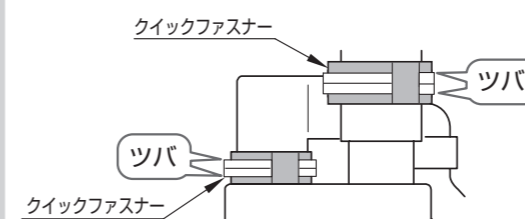


注意

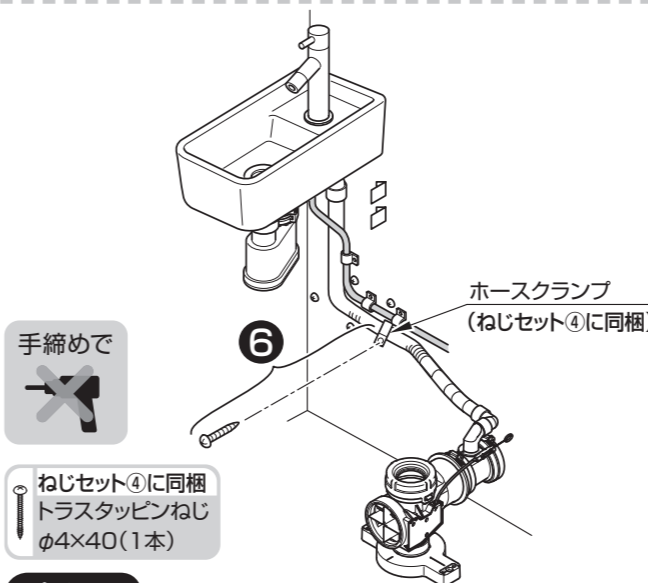
クイックファスナーが正しく固定されていることを確認する
 ※クイックファスナーがスムーズに1回転することを確認する
 ※クイックファスナーの全周にツバがかかっていることを確認する

必ず守る

水漏れして家財などがぬれる財産損害発生の原因となります。



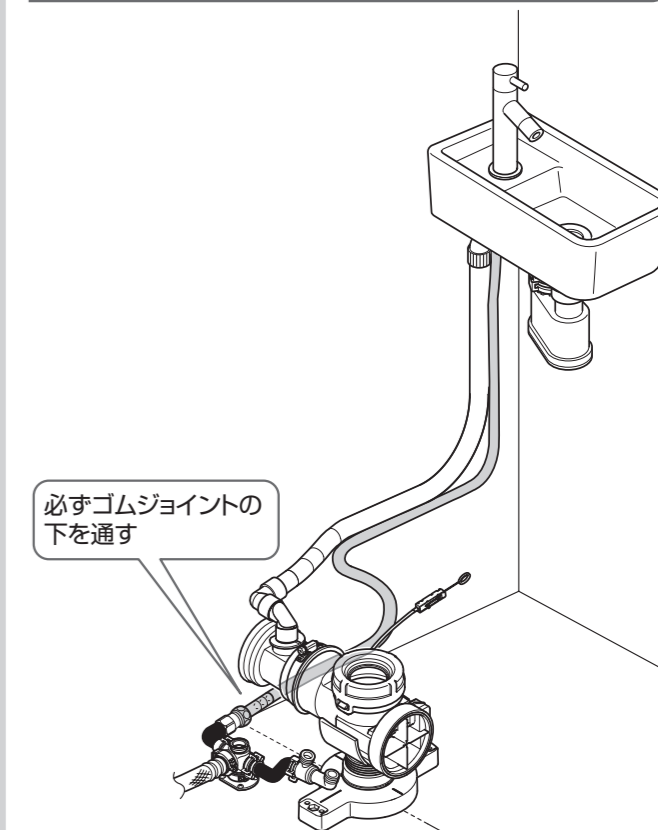
右勝手



ポイント

・手洗器排水ホースは、4カ所の面ファスナーの間を通す。
 ・手洗器排水ホースは、逆勾配にならないことを確認する。

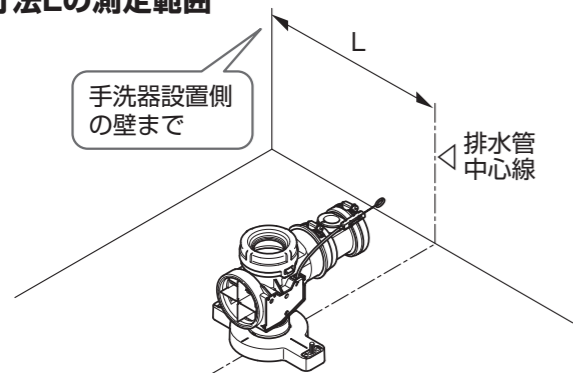
必ずゴムジョイントの下を通す



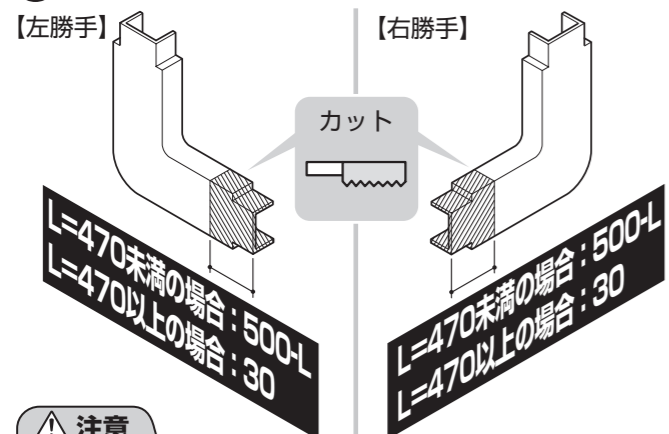
後ろ抜き 後ろ抜きリモデル 左右抜きリモデル

6 配管カバーの取り付け

寸法Lの測定範囲

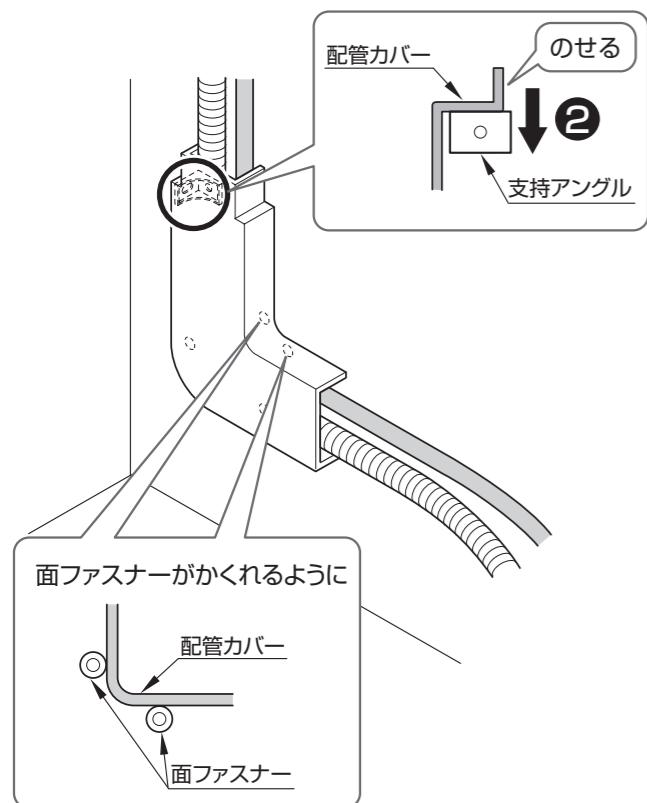


1 配管カバーのカット



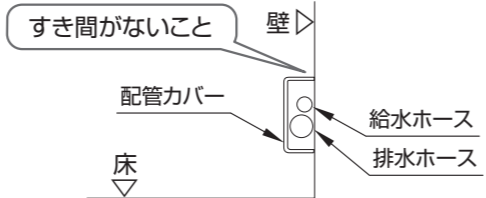
注意

カットした面は滑らかに仕上げる
お客様の手が触れ、ケガをするおそれがあります。
必ず守る



ポイント

面ファスナー部分(4カ所)を強く押し込む

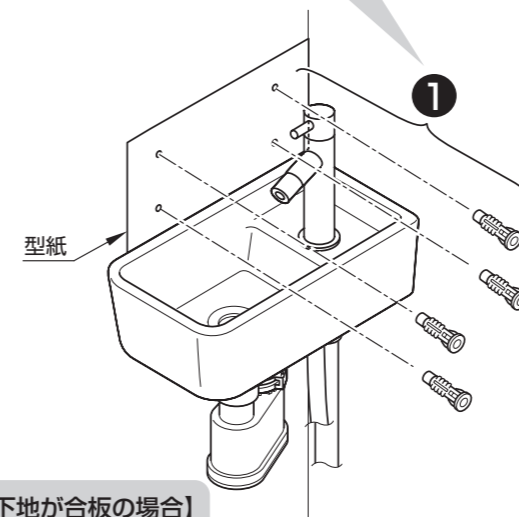


MEMO

4.バックパネル

1 バックパネルの取り付け

1 けがき → 下穴※ → ボードアンカー

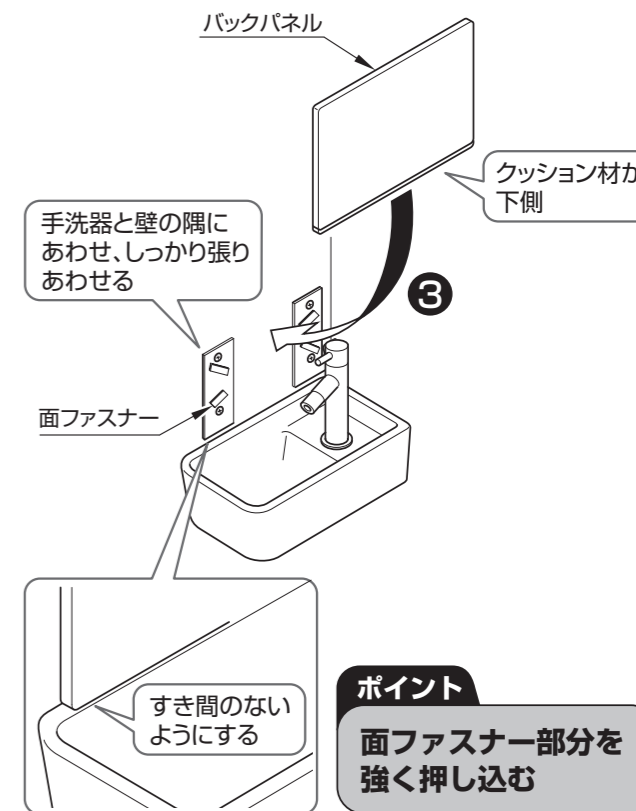


※【下地が合板の場合】

下穴



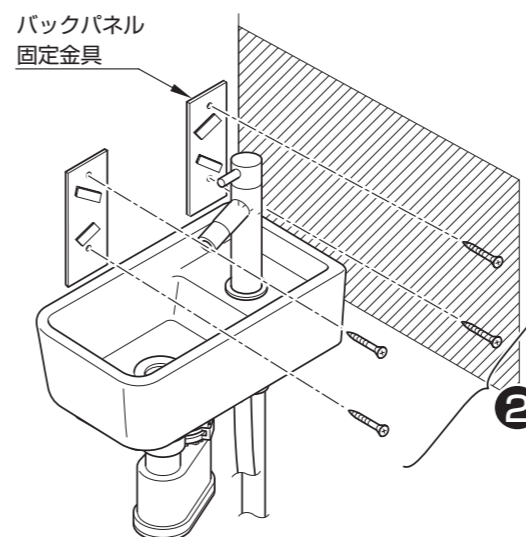
※ボードアンカーは
使用しない



ポイント

面ファスナー部分を
強く押し込む

MEMO



ポイント

部を養生する
電気工具が壁にあたり傷がつく
おそれがあります。

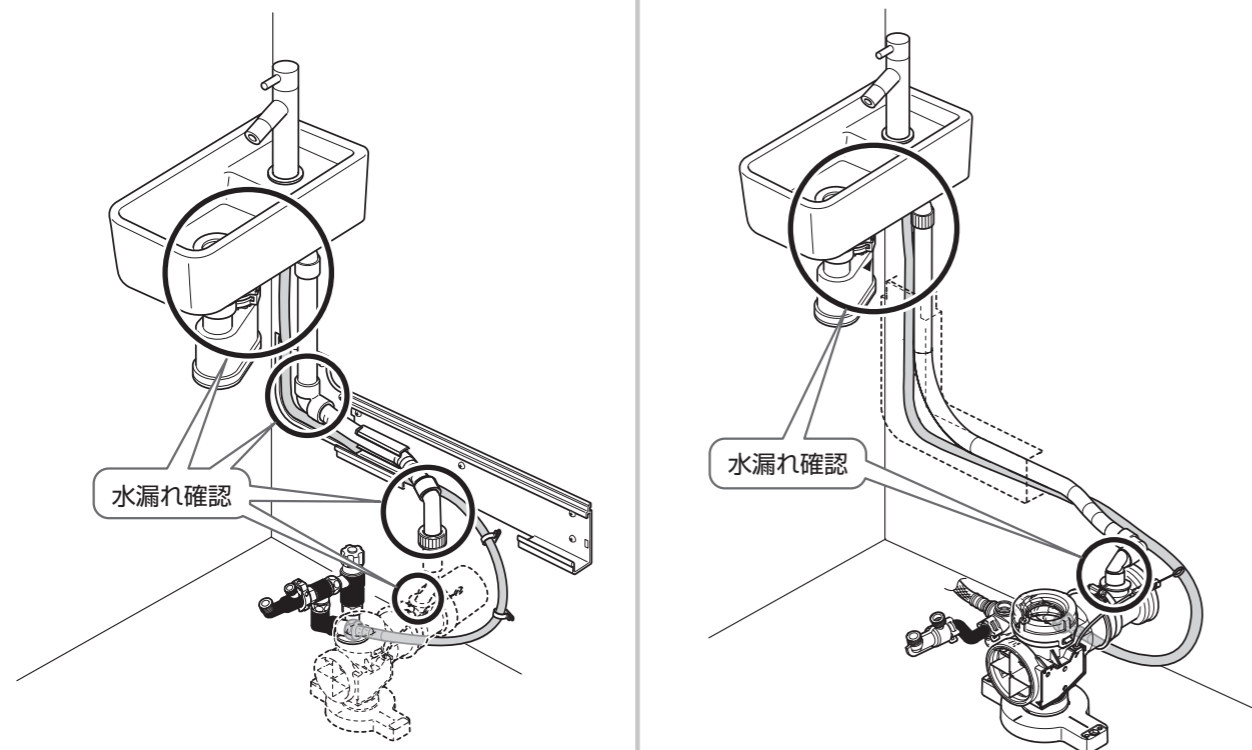
トラスタッピンねじ
φ4×40(4本)

5. 水漏れ確認

バケツ等を用いて手洗器に水を流し込み、排水管接続部の水漏れ確認を行ってください。

後ろ抜き(排水心高さ120mm) 給水隠ぺいタイプ・便器品番:CS987BDP

後ろ抜きリモデル/左右抜きリモデル 給水露出タイプ・便器品番:CS987BDX



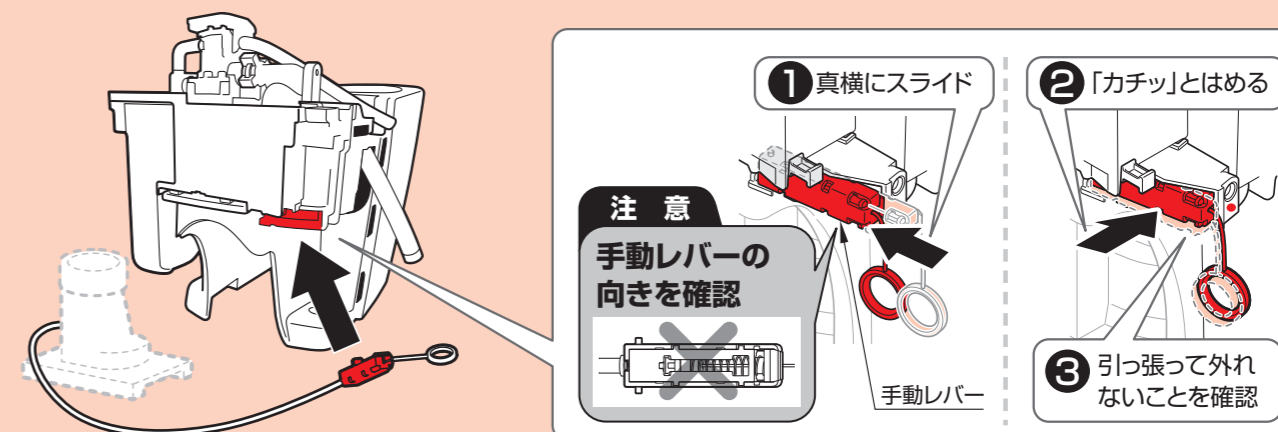
5

水漏れ確認

MEMO

6. 手動レバー

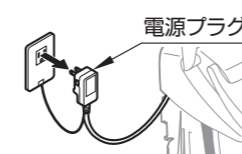
1 手動レバーの取り付け



ブザー音が鳴り、ランプがすべて点滅している場合

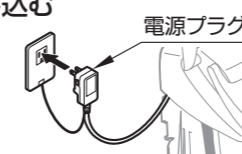


① 電源プラグを抜く

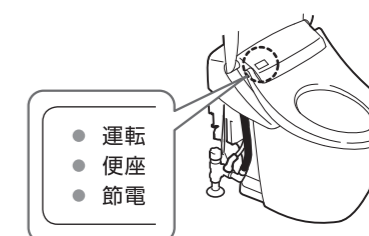


② ①に従って手動レバーを取り付ける

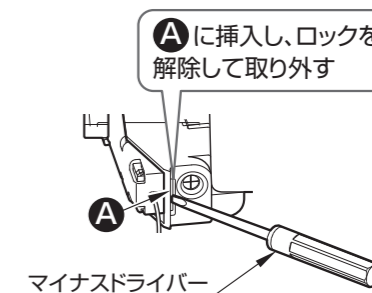
③ 電源プラグを差し込む



④ ブザー音が止まり、ランプの点滅がすべて消えていることを確認する



【手動レバーの取り外し】



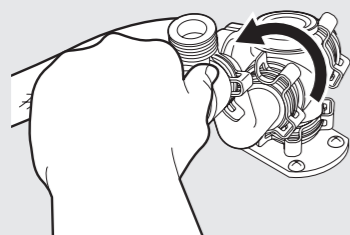
MEMO

6

手動レバー

7.大便器

1 大便器固定の準備



▶P.38

2 大便器の固定



▶P.38

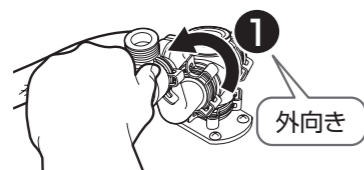
1 大便器固定の準備

後ろ抜きの場合



外向き

後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデルの場合



外向き

注意

分岐金具を外向きにする

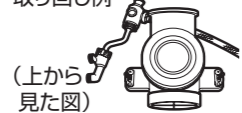
便器本体または分岐金具が干渉して破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因となります。



必ず実行

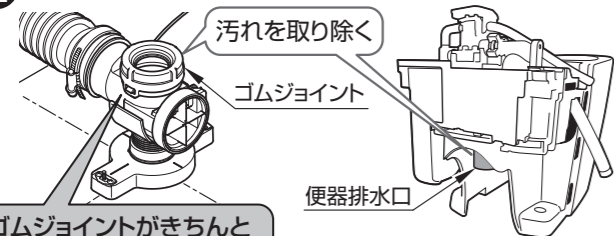
給水ホース、分岐金具を踏まないように注意する

取り回し例



(上から見た図)

2 便器排水口、排水ソケットの接続部周辺の汚れ除去



汚れを取り除く

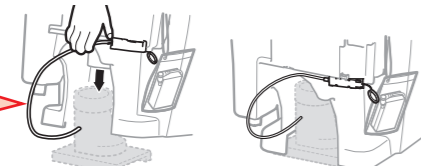
ゴムジョイント

便器排水口

ゴムジョイントがきちんと取り付けられていることを確認

手動レバーの取り回しかた

手動レバーを挟まないこと



注意 ※手動レバーは排水管の下を通す

手動レバーを引っ張ったり、便器に挟まない

2 大便器の固定



便器の排水穴を持つ

センターラベル

注意

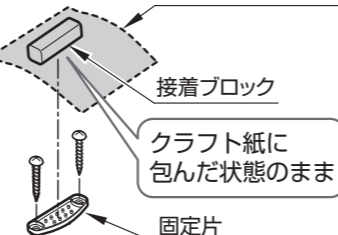
機能部を持たないこと
破損するおそれがあります。



トラスタピンねじ
φ6×40(2本)

注意書(クラフト紙)

1

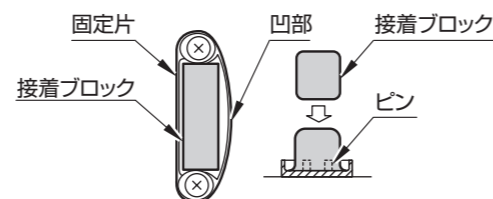


接着ブロック

クラフト紙に包んだ状態のまま

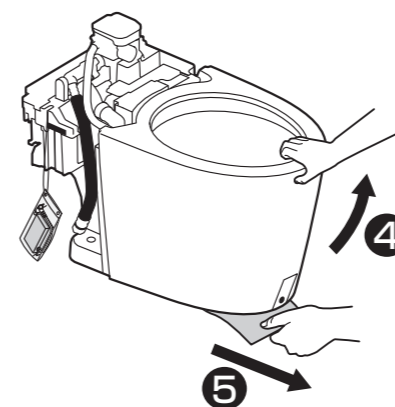
固定片

接着ブロックについて



- ※【施工直後にやり直す場合】
形状を図のように整える
- ※接着ブロックの方向性は特になし
- ※【接着ブロックが固くなった場合】
気温が下がると固くなる場合があるため、20~30℃のぬるま湯の中に、包装袋ごと入れて柔らかくして使用する
- ※詳細は、接着ブロックに付属の注意書を参照

3 センターラベルを基準に便器の位置を微調整



5

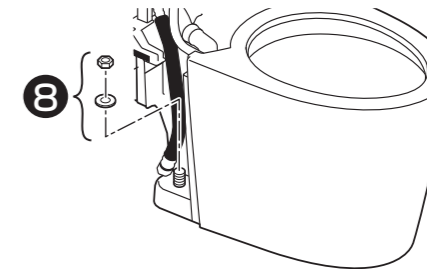


6 接着ブロックがつぶれるまで

7 センターラベルをはがす

注意

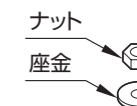
便器が床につくまで
しっかり便器を押さえる



8

注意

ナットを確実に締める
締め過ぎて便器を割らない
ように注意してください。



最後の締め増しは、手締めにより行い、便器を割らないように注意すること

9 分岐金具を元の位置に戻す

8.ウォシュレット

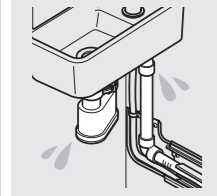
1 ウォシュレットの設置

▶ウォシュレット施工説明書

MEMO

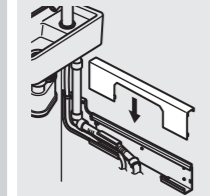
9. 確認・仕上げ

1 通水・水漏れの確認



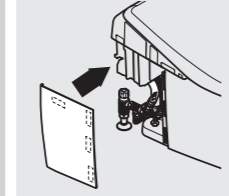
▶P.40

2 配管カバーの取り付け



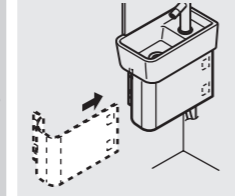
▶P.41

3 すっきりパネル



▶P.41

4 トラップカバーの取り付け



▶P.42

5 シリコン系シール剤の塗布



▶P.42

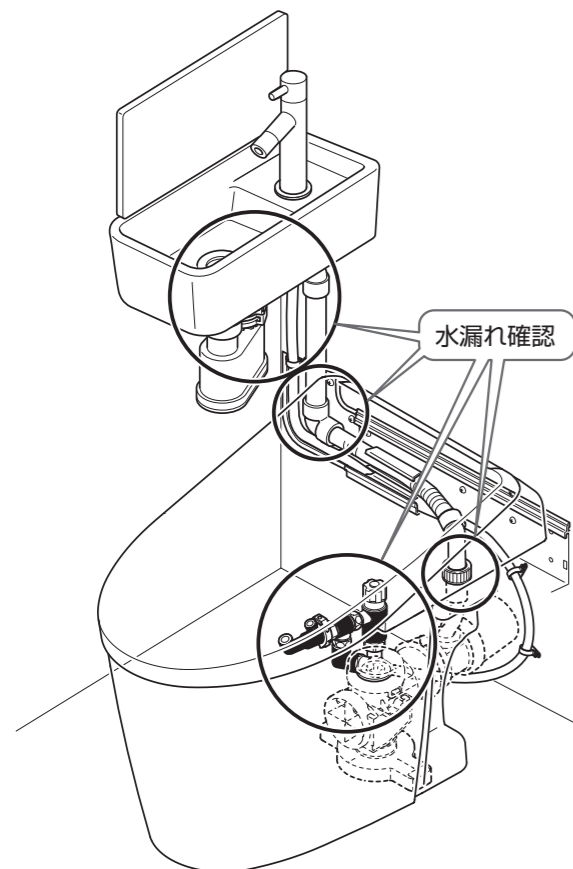
1 通水・水漏れの確認

ウォシュレットの施工説明書に従い、吐水確認（試運転）を行ってください。

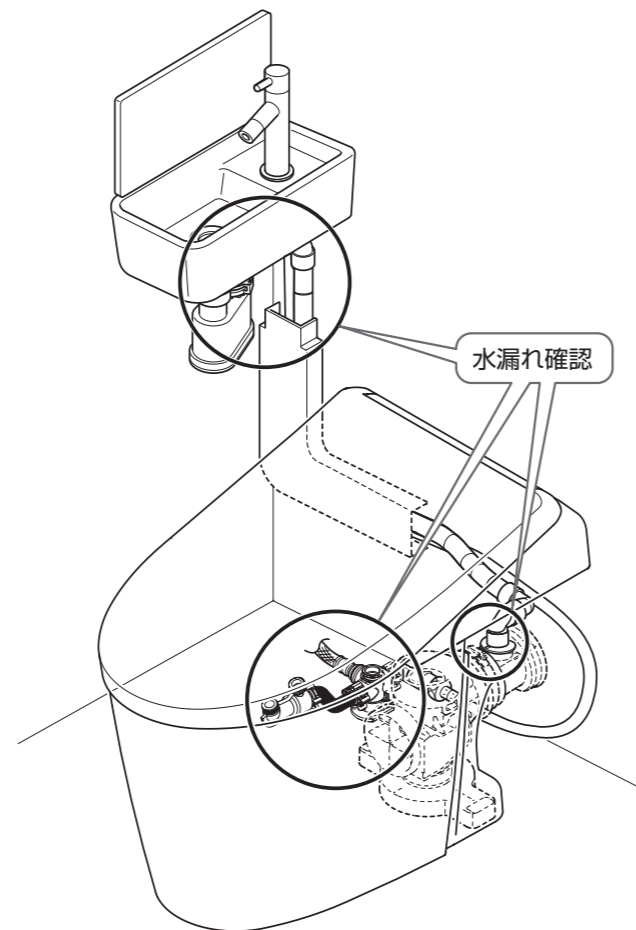
【確認のポイント】

- 給水・排水接続部（溶着部、クイックファスナー部）からの水漏れがないか
 - 流量は少ないか
- ※流量が少ない場合は、止水栓を閉めて、フィルターを掃除してください。

後ろ抜き（排水心高さ120mm） 給水隠ぺいタイプ・便器品番:CS987BDP

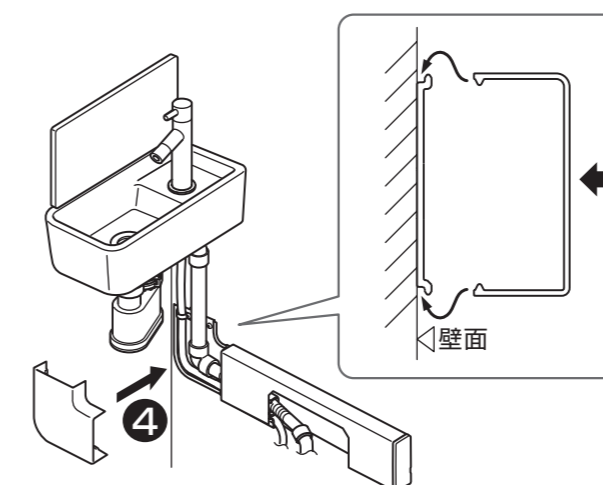
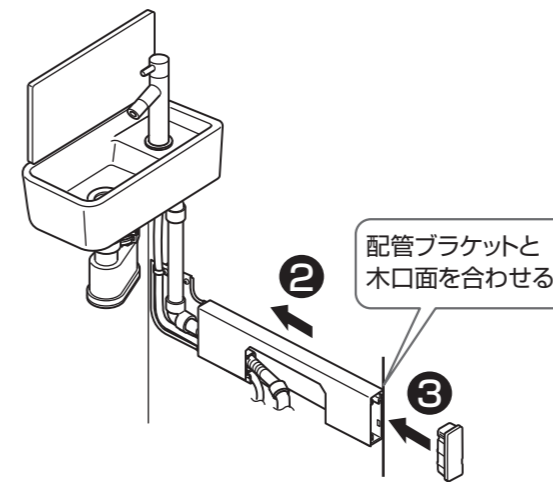
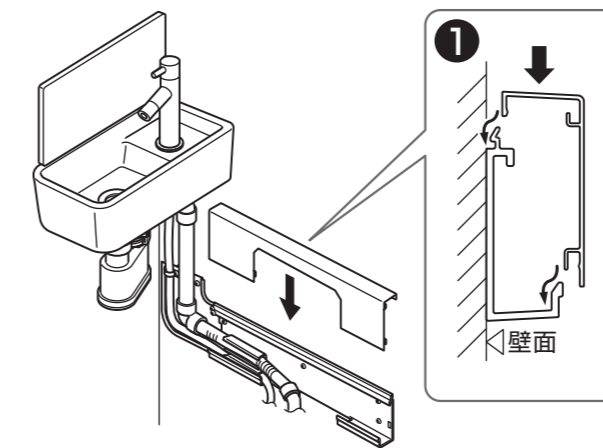


後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデル 給水露出タイプ・便器品番:CS987BDX



2 配管カバーの取り付け

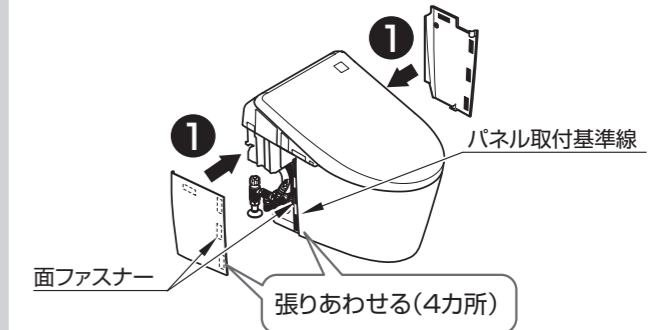
後ろ抜き（排水心高さ120mm） 給水隠ぺいタイプ・便器品番:CS987BDP



3 すっきりパネル

ウォシュレット本体の試運転確認後に取り付ける

後ろ抜き（排水心高さ120mm） 給水隠ぺいタイプ・便器品番:CS987BDP



後ろ抜きリモデル・左右抜きリモデル 給水露出タイプ・便器品番:CS987BDX

ふさぎ板について

排水抜き方向に応じて の部分を取り外してから取り付ける

排水管

【すっきりパネル(左)】

手洗いふさぎ板
排水ふさぎ板
給水ふさぎ板

左抜き
ねじ：3カ所

右抜き、後ろ抜き
ねじ：1カ所

【すっきりパネル(右)】

右抜き
ねじ：3カ所

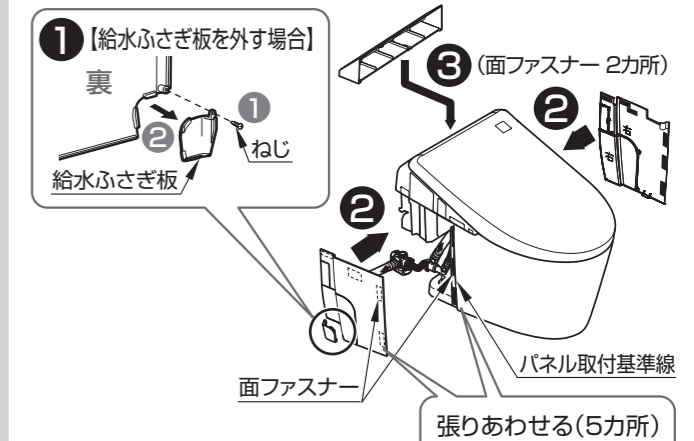
手洗器

【すっきりパネル(左)】

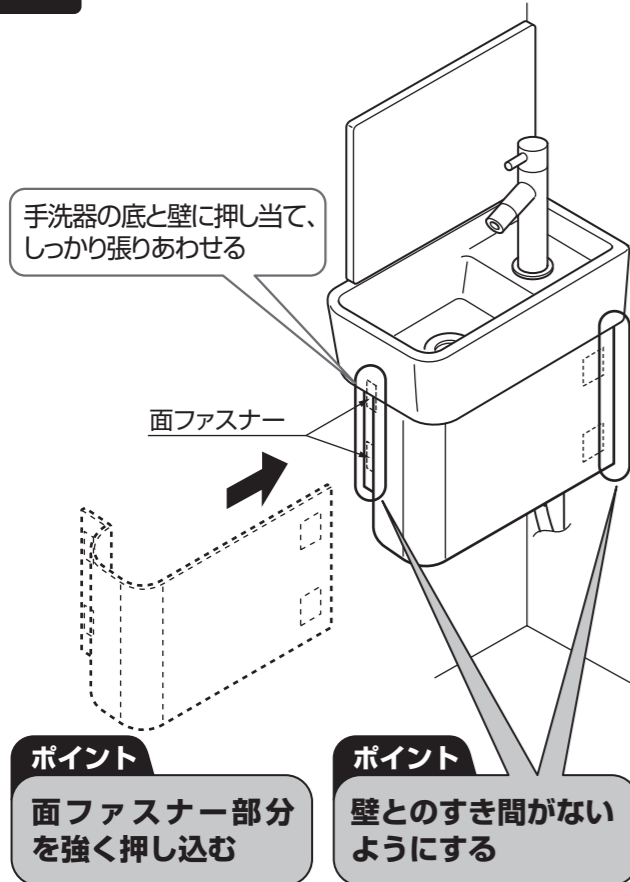
左勝手
ねじ：1カ所

【すっきりパネル(右)】

右勝手
ねじ：1カ所

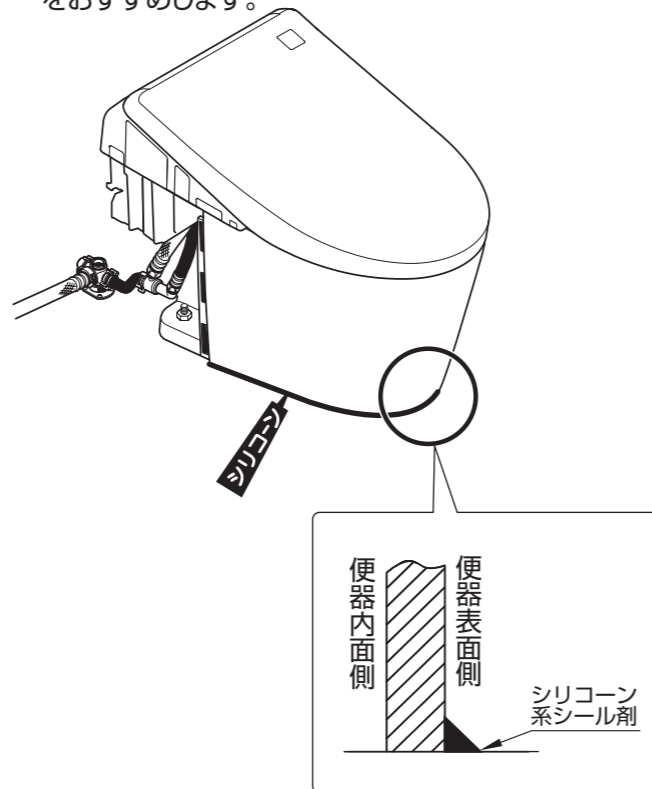


4 トラップカバーの取り付け



大便器

水や小水の浸入を防止するため、便器床設置部周囲に防カビ性の透明シリコン系シーリング剤を塗布することをおすすめします。



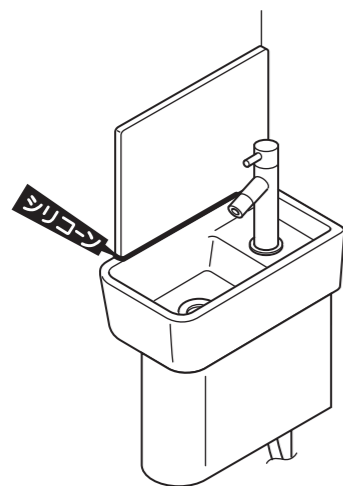
5 シリコン系シーリング剤の塗布

※TOTOおすすめシリコン系シーリング剤(別途手配)
メジシール(クリア) : YG903S

手洗器

⚠ 注意

! 必ずシリコン系シーリング剤を塗布する
必ず守る 水が浸入し、カビの発生の原因となります。



MEMO

MEMO

工事店様へ

このたびはネオレストハイブリッドシリーズ手洗器付(ワンデーリモデル)を施工いただきありがとうございました。

UGX1128

